保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

無効

品番		Q-01
シリアルNo.		
お買い上げ日		年　月　日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間		対象部分:機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から3年
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL(　　)
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ) 本書のご提示がない場合
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ) 本体内蔵のバックアップ電池やSDカードなどの付属品および消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ユピテル
〒108-0075 東京都港区港南1-6-31

6SS1978-D

marumie

Yupiteru

Q-01 全天球ドライブレコーダー

取扱説明書

12V/24V車対応

安心してお使いいただくために、必ず数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードのフォーマットを行ってください。(☛ P.13)

本機で使用する専用ソフトは、付属のSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。(https://www.yupiteru.co.jp)

このたびは、ユピテル製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、前後2カメラを搭載し、「720°」全方位(オムニディレクション)の映像を記録することができます。

⚠ 注 意

- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず電源OFFしてからSDカードを抜いて保管してください。
- 電源ON時にSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後、録画ランプが3秒以上消灯したことを確認し、SDカードの抜き差しを行ってください。

●重要事項●

必ず数ヶ月に一度、専用ソフトで SD カードのフォーマットを行ってください。

なぜ SD カードのフォーマットが必要なのか…

SD カードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域（＝不良セクタ）が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画データが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。数ヶ月に一度 SD カードをフォーマット（☛ P.13）することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

確認とご注意

安全上のご注意 …… 4
使用上のご注意 …… 8
もしも事故が起きたら・・・ …… 10
SDカードをフォーマットする …… 13

基礎知識

各部の名称と働き …… 16
1. 付属品 …… 17
2. 別売品 …… 18
3. 付属品・別売品の購入について …… 18
SDカードの装着/取り外し …… 19
1. SD カードを本体へ装着する …… 19
2. SD カードを本体から取り外す …… 20
SDカードカバーにネジを取り付ける… 20
録画について …… 21
1. 常時録画 …… 21
2. イベント記録
（G センサー記録とワンタッチ記録） …… 22
3. マルチトリガーについて …… 23
4. 上書きモードについて …… 23
駐車記録について …… 24
GPS機能について …… 24
初期値について …… 25
メンテナンスについて …… 25

設置と準備

本機の取り付け …… 27
1. 本機を取り付ける …… 28
2. 電源を接続する …… 30
別売品の取り付け …… 31
1. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法… 31
2. 電圧監視機能付電源直結ユニット
(OP-VMU01)の接続方法 …… 34
専用ソフトの準備 …… 37
1. 準備する …… 37
2. 設置角度検出をする …… 37
3. 本機の準備 …… 40
4. テスト記録の確認 …… 41

専用ソフト

専用ソフトの使いかた …… 42
1. 録画データの準備 …… 42
2. 画面説明 …… 43
3. 表示エリアの操作 …… 45

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、「SD カード内にある録画データ」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。(☛ P.51)

● SD カードは消耗品です。

フォーマットしても SD カードエラー (☛ P.78) が頻繁に表示される場合は、SD カードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

● SD カードの買換えは純正品をお勧めします。

どの SD カードにも本機との相性問題があります。市販品の SD カードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。
お使いの機種と一緒にお買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店に SD カードをご注文ください。

再生する …… 47
1. 録画データを再生する(イベント記録) …… 47
2. 録画データを再生する(常時録画) …… 48
3. ボタン操作について …… 49

保存する …… 51
1. バックアップ …… 51
2. 動画変換 …… 52
3. 静止画変換 …… 53

印刷する …… 54

履歴記録 …… 55

ログデータ変換 …… 57

レポート表示する …… 59
1. レポートを表示(印刷)する(イベント記録) … 59
2. レポートを表示(印刷)する(常時録画) …… 61
3. レポートを表示(印刷)する(履歴記録) …… 63

設定を変更する …… 65
1. 記録設定 …… 65
2. システム …… 67
3. 衝撃感度設定 …… 67
4. マルチバッテリー設定 …… 68
5. SD カードフォーマット …… 70
6. 録画データ削除 …… 70
7. バックアップ …… 71

インフォメーション …… 72

その他

別売品の
SDカードを使用する前に・・・…… 73

SDカードの機種設定の確認/変更 … 75
1. SD カードの機種設定を確認する …… 75
2. SD カードの機種設定を変更する …… 76

動作一覧 …… 77

こんなときは …… 78

故障かな?と思ったら …… 79

仕　様 …… 82

映像記録時間の目安 …… 84
1. 録画時間 …… 84
2. イベント記録件数 …… 84

索 引 …… 85

アフターサービス …… 87

保証書 …… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- ⃠ してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ☛ 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警 告

❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

・内部に異物が入った
・水に浸かった
・煙が出ている
・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
☛ P.87「アフターサービス」

❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

⃠ **本機を次のような場所に保管しないでください。**

変色や変形、故障の原因となります。
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
・湿気やほこり、油煙の多い所
・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⃠ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

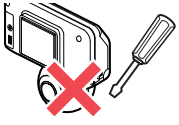
破裂、発火や火傷の原因となります。

⃠ **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。

⃠ **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



⚠ 注 意

結露したまま使い続けないでください。
故障や発熱などの原因となります。（気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。）

濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。

落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

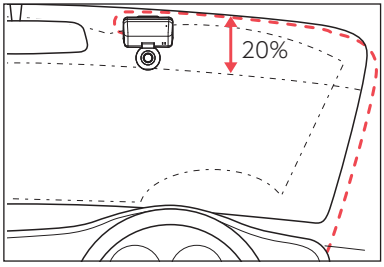
本機は精密機械です。
静電気/電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

●取り付けについて

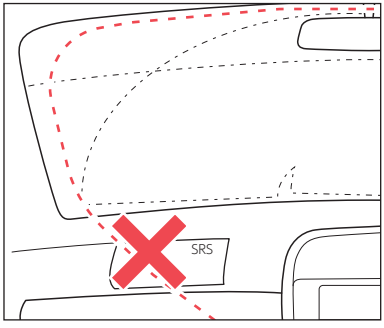
⚠ 警 告

取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。



取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、車両の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注 意

取り付けは確実に行ってください。
本機の脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

接続部は確実に奥まで差し込んでください。
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

●電源コードについて

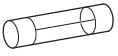
⚠ 警 告

取り付け作業中はバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

バッテリーのマイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートによる故障や感電、けがの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



交換用ヒューズ
2A(20㎜×5.2㎜)

コードの接続は＋－の極性をよく確かめて確実に行ってください。

異常過熱や発火の原因となります。

取り付け後は、車両の電装品が正常に動作するか確認してください。

車両の電装品(ブレーキ、ライト、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

電源コードは確実に差し込んでください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

指定された電源電圧車両以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

バッテリーに直接接続しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。

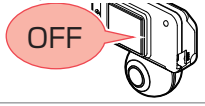
コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

故障や感電の原因となります。

●SDカードについて

⚠ 警 告

⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。



⚠ SDカードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警 告

- **走行中は運転者による操作をしないでください。**
  このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。
- **運転中にカメラ等を注視しないでください。**
  前方不注意による事故の原因になります。
- **ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。**

- **急発進したり急ブレーキをかけないでください。**
  安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- **運転者は走行中に操作しないでください。**
  走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- **海外ではご使用にならないでください。**
  本機は日本国内仕様です。

●本機のお手入れについて

⚠ 警 告

- **カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。**
  乾いた布などでふくとキズの原因となります。

- **本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。**
  内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- **ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。**
  塗装面を傷めます。

使用上のご注意

●本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

●本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 使用前の注意

① ☛ P.37を参照し、専用ソフトをパソコンにインストールして起動してください。
②専用ソフトのファイルメニュー[ツール]→[記録設定]から各種設定を確認し、[SDカードへ保存]をクリックしてください。

■ GPS 測位に関する注意

・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 真夏などの炎天下での注意

・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

■ 保証に関する注意

・本製品にはお買い上げから3年間の保証がついています。(ただし、電源コード、SDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 取り付けに関する注意

・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。
・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。

■ 撮影された映像について

・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 電源コードに関する注意

・電源コードは、必ず付属品をご使用ください。
・電源コードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ SDカードに関する注意

・SDカードは必ず付属品か別売品を使用してください。市販品のSD カードを使用すると、正常に録画できない場合があります。
・SDカードリーダーライターは、使用のSD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。別売のSDカード(OP-SD64、OP-SD128)をお使いのときは、リーダーライターがSDXCメモリーカードに対応しているかご確認ください。対応していないリーダーライターに接続すると、SDXCメモリーカード本来の容量で使用できなくなることがあります
・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
・SDカードはNAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、数ヶ月に一度、専用ソフトでの[SDカードフォーマット]を行ってください。
・SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSD カードエラーになり使用できない場合があります。
・SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
・重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。

■ 録画についての注意

・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
・LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
・LED式信号機対策を行っているため、完全消灯状態で撮影されることはありません。
・映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
・色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周囲の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
・事故発生時は、録画データが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
※長期間使用しなかった場合。
※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

SDカードの保管

・保管場所について…
SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。

〈静電気・ノイズ〉

〈水・湿気〉

〈衝撃・曲げ・折り〉

〈腐食性ガス〉

こんなときに録画データが役立ちます

例 赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。

■ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付電源直結ユニット接続時

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付電源直結ユニットを接続した状態で走行時または駐車時に事故が起きた場合のSDカード保管方法。

走行時に事故が起きた場合

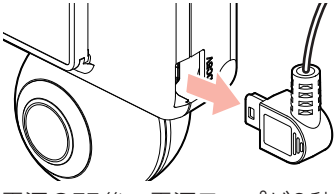
1 車両のエンジンをOFFする

駐車記録を行います。
※別売品または専用ソフトの設定によっては電源OFFします。

駐車時に事故が起きた場合

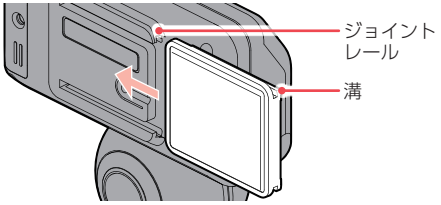
「2.本機のDCジャックから電源コードを取り外す」へお進みください。

2 本体のDCジャックから電源コードを取り外す

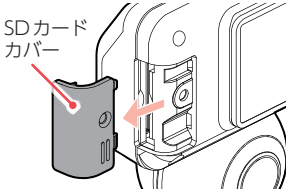


電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

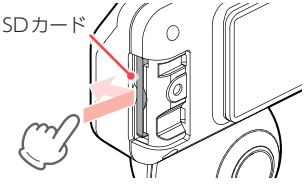
3 本体をブラケットから取り出す



4 SD カードカバーを外す



5 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

バックアップ機能について
重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

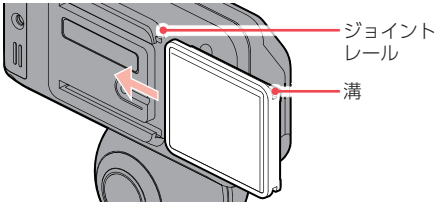
■ 付属品の電源直結コード接続時

付属の電源直結コードを接続した状態で事故が起きた場合のSDカード保管方法。

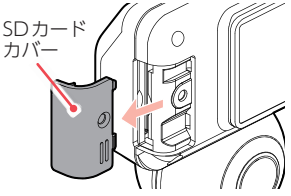
1 車両のエンジンをOFFする

本体の電源OFF後、録画ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

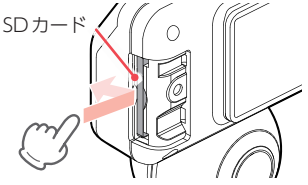
2 本体をブラケットから取り出す



3 SD カードカバーを外す



4 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

SDカードをフォーマットする

必ず数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードをフォーマットしてください。
定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

※パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

※必ずSDHC規格またはSDXC規格に対応したSDカードリーダーライターやカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。それぞれの規格に対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

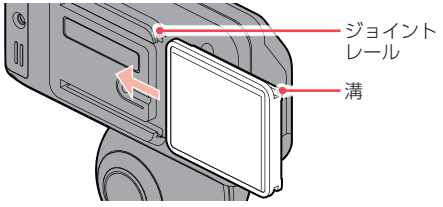
SDカードフォーマットの手順

1 車両のエンジンをOFFする

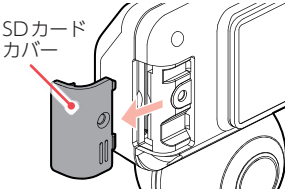
本体の電源OFF後、録画ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

※別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付電源ユニットを接続している場合は、初めに本体から電源コードを取り外してください。

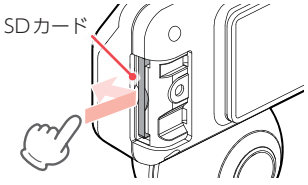
2 本体をブラケットから取り出す



3 SDカードカバーを外す

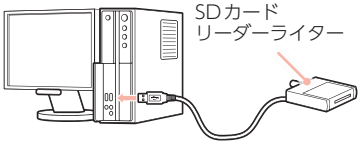


4 SDカードを押し込み、少し飛びだしてから引き抜く

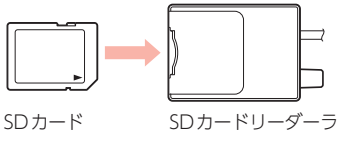


※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

5 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



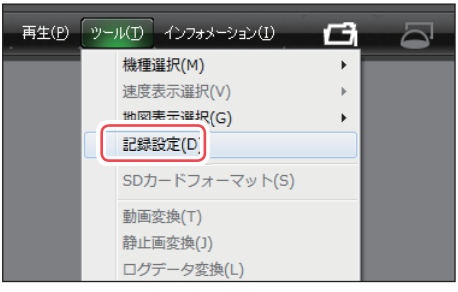
6 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



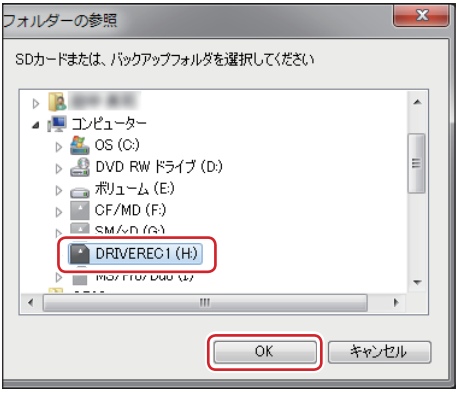
※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

7 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする

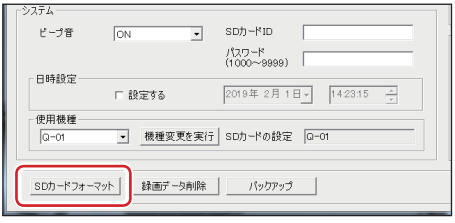
8 メニューバーの[ツール]→[記録設定]を選択する



9 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする

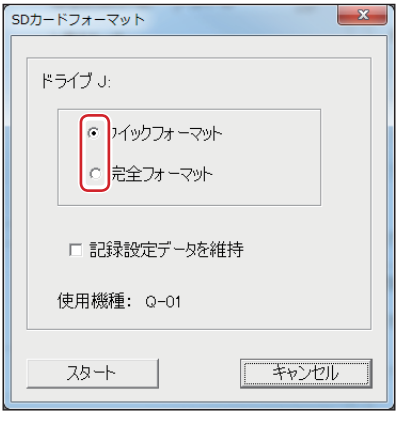


10 [SDカードフォーマット]をクリックする



※メニューバーの[ツール]→[SDカードフォーマット]でも同じ画面表示になります。

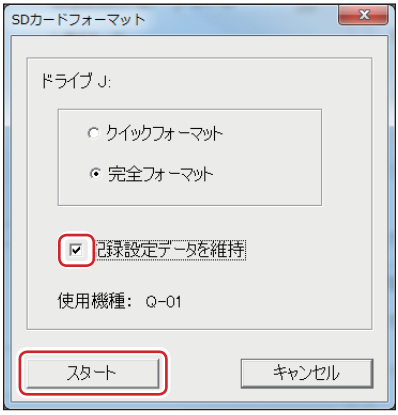
11 [クイックフォーマット]と[完全フォーマット]のいずれかを選択する



・クイックフォーマット
短時間でフォーマットを行います。

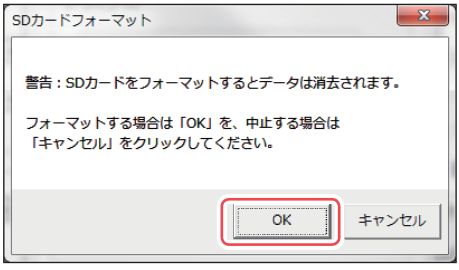
・完全フォーマット
完全にフォーマットを行います。
※クイックフォーマットよりも時間がかかります。

12 [記録設定データを維持]に☑を入れ、[スタート]をクリックする

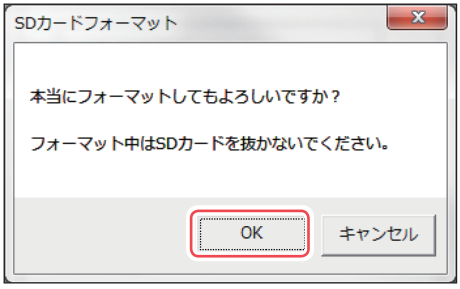


・☑ 記録設定データを維持
SDカードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。
☑ を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録されたデータは削除されます。

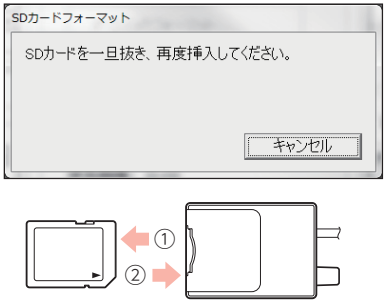
13 [OK]をクリックする



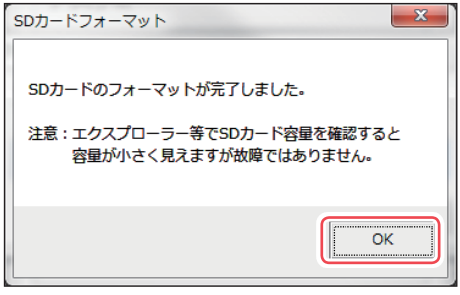
14 [OK]をクリックする



※完全フォーマットの場合、下記の画面が表示されます。画面の説明に従ってSDカードの抜き差しを行ってください。



15 [OK]をクリックする

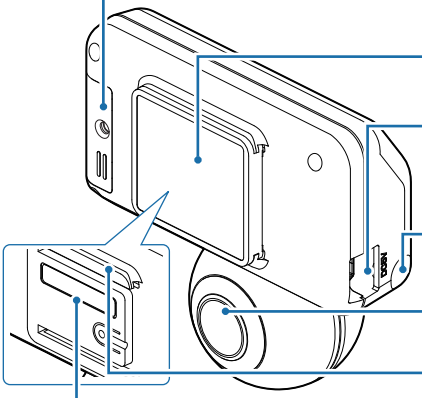


以上でフォーマットは完了です。

各部の名称と働き

■ 本体

正 面



SDカードカバー
SDカードをカバーを開けて挿入します。

ブラケット

DCジャック(DC5V)
付属の電源直結コードや接続ケーブル(OP-CB5R)を接続します。
(☛ P.30、31)

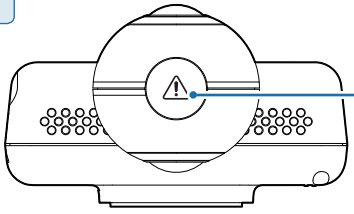
六角ネジ(M4×25㎜)

レンズ(フロント)

ジョイントレール

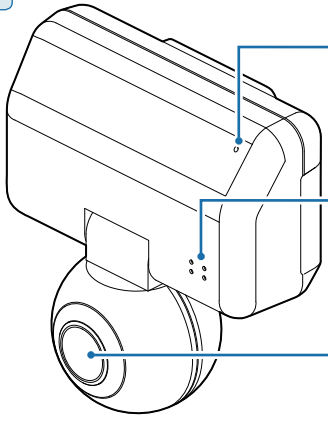
シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

下 面



録画ランプ(赤・青) / 記録ボタン
本体の動作状態をランプでお知らせします。
(☛ P.77)
録画中に押すと、ワンタッチ記録を行います。
(☛ P.22)

背 面



マイク
周囲の音を収集します。

ブザー
イベント記録時などに音が出ます。

レンズ(リア)

1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ ブラケット ……1
（本体に装着済）

■ 両面テープ ……1

■ 専用SDカード（16GB） ……1

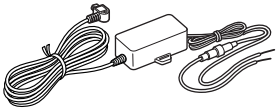
■ 取扱説明書・保証書（本書） ……1

■ 六角ネジ（M4×25㎜） ……1
（本体に装着済）

■ 六角レンチ（M4）……1

■ 精密サラネジ（M2.6×5㎜） ……1

■ 5Vコンバーター付電源直結コード
（約4m） ……1



・本機には、お買い上げの日から3年間の製品保証がついています。
ただし、SDカード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。

・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
・SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

■ 専用SDカード(16GB)　OP-SD16
6,600円

■ 専用SDカード(32GB)　OP-SD32
11,000円

■ 専用SDカード(64GB)　OP-SD64
19,800円

■ 専用SDカード(128GB)　OP-SD128
39,600円

※付属品、または別売品のSDカード以外は使用しないでください。

■ 電圧監視機能付電源直結ユニット
OP-VMU01(12V/24V車対応)
6,600円

車両バッテリーに繋げて駐車記録を行う、オフタイマー設定・車両バッテリー電圧監視機能付きの電源ユニットです。

本体……1
入力コード……1
両面テープ……1

■ マルチバッテリー　OP-MB4000
(12V車専用)　25,300円

エンジンをOFFにすると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。(最大約12時間)

本体……1
入力コード……1
出力コード……1
面ファスナー……1

■ 接続ケーブル(約4m)　OP-CB5R
2,200円

本機とマルチバッテリー(OP-MB4000)を接続する通信用のケーブルです。専用ソフトからマルチバッテリーの設定をすることができます。(☛ P.68)

3. 付属品・別売品の購入について

・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
https://spareparts.yupiteru.co.jp/

SDカードの装着/取り外し

⚠注 意

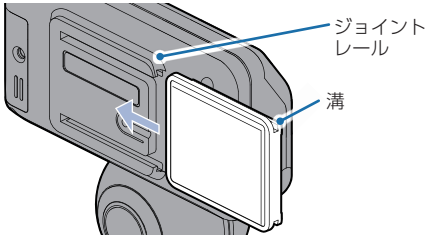
・電源ON時にSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後、録画ランプが3秒以上消灯したことを確認し、SDカードの抜き差しを行ってください。
・付属品または別売品のSDカード以外使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。

1. SDカードを本体へ装着する

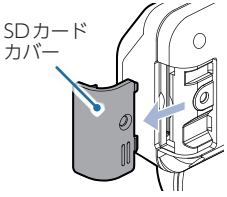
1-1 車両のエンジンをOFFする

本体の電源OFF後、録画ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

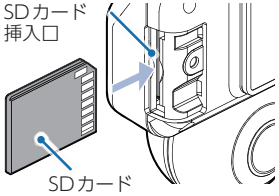
1-2 本体をブラケットから取り外す



1-3 SDカードカバーを外す

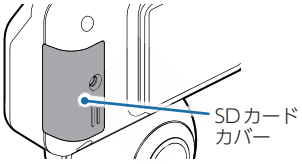


1-4 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

1-5 SDカードカバーを装着する



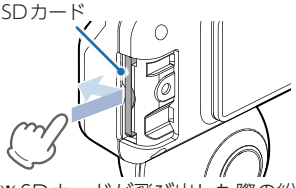
※SDカードカバーの外周部分を強く押して、SDカードカバーが本体より飛び出した状態にならないようにしてください。

2. SDカードを本体から取り外す

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付電源直結ユニットを接続している場合は、初めに本体から電源コードを取り外してください。(☛ P.10)

2-1 ☛ P.19手順「1-1 ～ 1-3」を行う

2-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



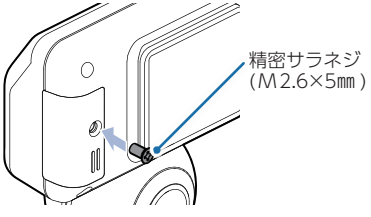
※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

SDカードカバーにネジを取り付ける

SDカードカバーは、お客様の必要に応じて付属の精密サラネジ(M2.6×5㎜)を取り付けることが可能です。

1-1 ☛ P.19手順「1-1 ～ 1-2」を行う

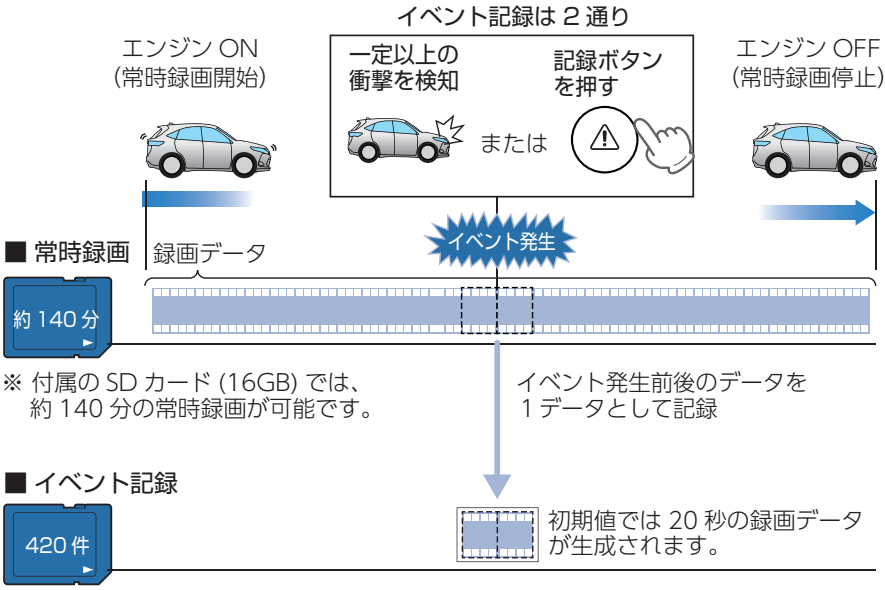
1-2 ネジを締める



市販品の＋(プラス)ドライバーで取り付けてください。

録画について

録画方法は、[常時録画]、[イベント記録]、[常時＋イベント]があります。
専用ソフトを使って、録画方法を選択することができます。(☛ P.65)
※初期値は[常時＋イベント]です。



- お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、録画データを上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(☛ P.65)
- 本体起動直後や録画データの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。
- SDカードが未挿入や異常時、またはエラー表示された場合は、映像を記録することはできません。(☛ P.78)

1. 常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像をSDカードに常時録画します。記録したい時間に合わせて、設定を変更してください。(☛ P.65)

- **録画可能時間**
  初期値(30コマ/秒)で、付属のSDカード(16GB)に約140分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.84「映像記録時間の目安」)
- **上書きモード**
  初期値では、上書きモードが[ON]のため、140分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.23「上書きモード」)

2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録にはGセンサー記録とワンタッチ記録があります。
イベント記録時はビープ音が鳴り、記録が行われます。

※前後時間比率は、記録設定によって変更することができます。(☛ P.65)
※記録時のビープ音は設定でOFFにすることができます。(☛ P.67)
※Gセンサー記録、ワンタッチ記録それぞれの記録時間を個別に設定することはできません。
※録画コマ数を[2コマ/分]、[1コマ/分]、[12コマ/時]、[6コマ/時]に設定した場合、イベント記録コマ数は[1コマ/秒]になります。(☛ P.65)

・**録画データ構成**
1データあたり最大60秒(イベント発生前後30秒)で生成します。

・**最大記録件数**
初期値(イベント発生前後10秒(20秒))で、付属のSDカード(16GB)に420件のイベント記録が可能です。SDカードの容量によって最大記録件数は異なります。(☛ P.84「イベント記録件数」)

・**上書きモード**
初期値では、上書きモードが[ON]のため、記録件数が420件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.65「設定を変更する」)

■ Gセンサー記録

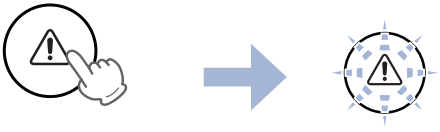
内蔵のGセンサーが一定以上の衝撃を検知した場合には「Gセンサー記録」として前後の映像をSDカードに記録します。

一定以上の衝撃を検知

※ビープ音が鳴り、録画ランプ(青)が点滅します。

■ ワンタッチ記録(手動録画)

本体の記録ボタンを押すことで、押した前後の映像を「ワンタッチ記録」としてSDカードに記録します。



※ビープ音が鳴り、録画ランプ(青)が点滅します。

録画設定が[常時録画]または[常時録画+イベント]の場合、記録ボタンを押すことで、常時録画の映像に対してタイムラインにトリガが黄色でマークされます。

※トリガは常時録画の映像に対してマークされているため、常時録画の映像が上書きされた場合、トリガも上書きされます。
※録画設定を[常時録画]にした場合、ワンタッチ記録は行いませんが、常時録画データにトリガはマークされます。

⚠注 意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

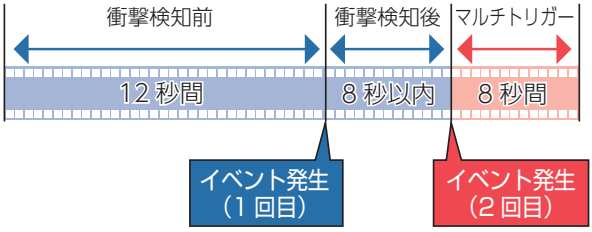
3. マルチトリガーについて

本機では、イベント記録中に新たな衝撃が加わった場合、2回目以降の衝撃も1つのファイルとして連続で記録します。

※マルチトリガー検知後は、設定されている時間(衝撃検知後の時間)記録します。
※イベント記録の1ファイルの最大秒数は、60秒になります。
※イベント記録時間の設定が60秒(30,30)の場合は、マルチトリガーは行いません。

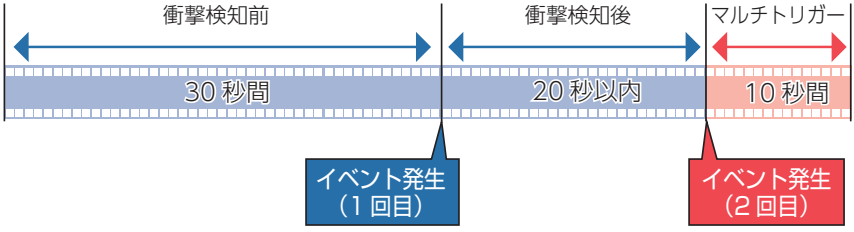
■ 例1：イベント記録時間の設定が12秒 / 8秒の場合

2回目のイベント発生後、さらに8秒間イベント記録を続けます。



■ 例2：イベント記録時間の設定が30秒 / 20秒の場合

1ファイルのイベント記録の最大秒数が60秒のため2回目のイベント後、さらに10秒間イベント記録を続けます。



4. 上書きモードについて

上書きモードを[OFF]にすると、各録画方法のデータ容量が上限に達した場合、「ピーピーピーピー」と4回ビープ音が鳴り、その録画方法での録画を停止します。
(☛ P.65)

駐車記録について

本体と別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000)、または電圧監視機能付電源直結ユニット (OP-VMU01) を接続させることにより、車両の電源OFF後も設定した時間 (オフタイマー設定)、本体に電源が供給され、駐車中も常時録画やイベント記録を行うことができます。
また、別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000) を接続ケーブル (OP-CB5R) で接続することで、専用ソフトからマルチバッテリー (OP-MB4000) の設定を行うことができます。
(☛ P.68「マルチバッテリー設定」)

1. 駐車記録をする

1-1 車両のエンジンをOFFする

オフタイマー設定した時間、本体に電源が供給され駐車記録を行います。
※駐車記録中の動作一覧は ☛ P.77 を参照ください。

GPS機能について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、現在地の緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、走行履歴の保存ができます。
※走行履歴の記録時間は、「履歴記録時間」で変更できます。(☛ P.65)

1. GPSを測位する

1-1 車両のエンジンをONする

本体が電源ONすると、GPS測位性能が働きます。
※通常、GPS測位が完了するまで、約10秒から約3分かかりますが、購入直後やビルの谷間など、視界の悪い場所では、20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

TVによるGPS測位障害について
車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。

初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説　明
録画方法	常時＋イベント	常時録画を行いながら衝撃を検知した場合、映像を別のデータで記録します。
録画コマ数	30コマ/秒	1秒あたり30コマで記録します。
イベント記録時間	10,10[20]	イベント発生前後10秒(20秒)で記録します。
音声録音	ON	動画と同時に音声も録音します。
履歴記録時間	24時間	24時間分の履歴(ログデータ)を記録します。
履歴記録コマ数	1コマ/秒	1秒あたり1コマで履歴記録を記録します。
上書きモード	すべてON	SDカード容量がいっぱいになると古いデータから順に上書きされます。
ビープ音	ON	イベント記録時などに音が出ます。
衝撃感度設定	5	標準設定(基本的に事故のみを記録)

※初期値を変更する場合は、☛ P.65「設定を変更する」を参照ください。

メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 数ヶ月に一度のメンテナンス

⚠注 意

必ず数ヶ月に一度、SDカードのフォーマットを行ってください。

・SDカードのフォーマット(☛ P.13)

■ 必要に応じてメンテナンス

・ヒューズの交換

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、電源コードのヒューズ（2A）が切れている可能性があります。

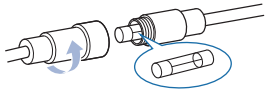
①接続コード類が外れていないか確認してください。

②下記の手順でヒューズを取り出し、電源コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。

③ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



交換用ヒューズ2A
(20mm×5.2mm)

＜マルチバッテリー(OP-MB4000)＞

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、入力コードのヒューズ (6A) が切れている可能性があります。

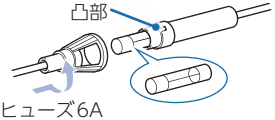
① 接続コード類が外れていないかを確認してください。

② 下記の手順でヒューズを取り出し、入力コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。

③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



交換ヒューズ6A
(30mm × 6.0mm)

＜電圧監視機能付電源直結ユニット(OP-VMU01)＞

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、入力コードのヒューズ (3A) が切れている可能性があります。

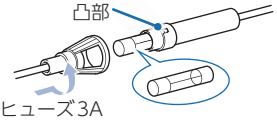
① 接続コード類が外れていないかを確認してください。

② 下記の手順でヒューズを取り出し、入力コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。

③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



交換ヒューズ3A
(30mm × 6.4mm)

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。

・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。

・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。

・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。

・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。

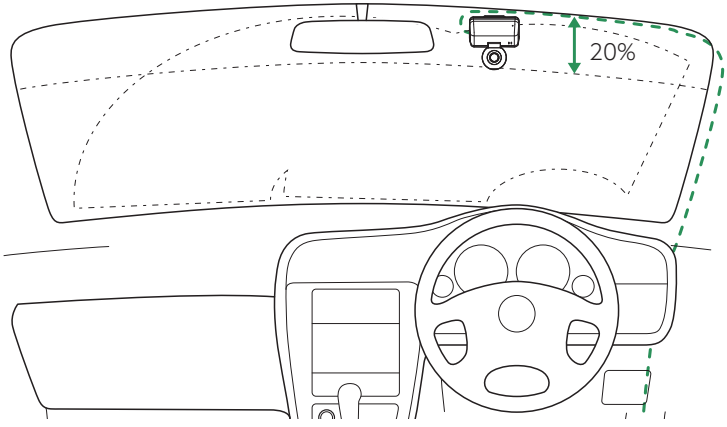
・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。

・本機の周囲に物を配置しないでください。映像が映り込む可能性があります。

・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。

・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。

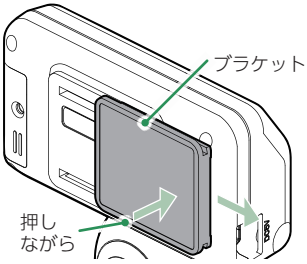
・電源ONする前には必ず六角ネジが緩んでいないか、レンズ位置はズレていないかを確認してください。



1. 本機を取り付ける

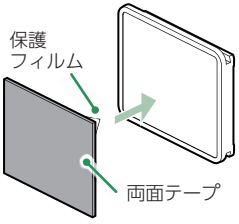
あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 ブラケットを本体から取り外す



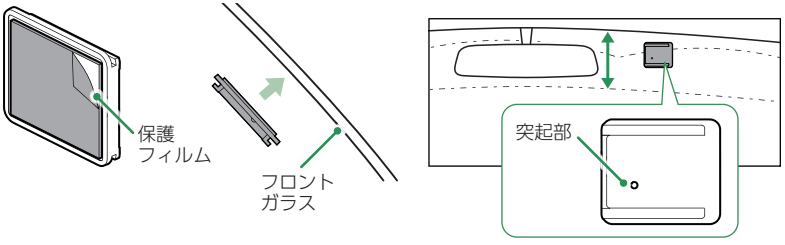
ブラケットを押しながら矢印の方向にスライドさせます。

1-2 ブラケットに付属の両面テープを貼り付ける



両面テープの保護フィルムを片側だけはがし、ブラケットに貼り付けてください。

1-3 ブラケットをフロントガラスに貼り付ける



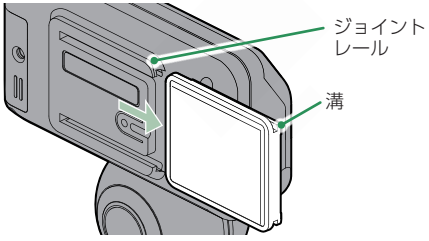
残りの保護フィルムをはがし、ブラケットの突起部が正面から見て左下になるように貼り付けてください。

※本体を装着した時に電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
・貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

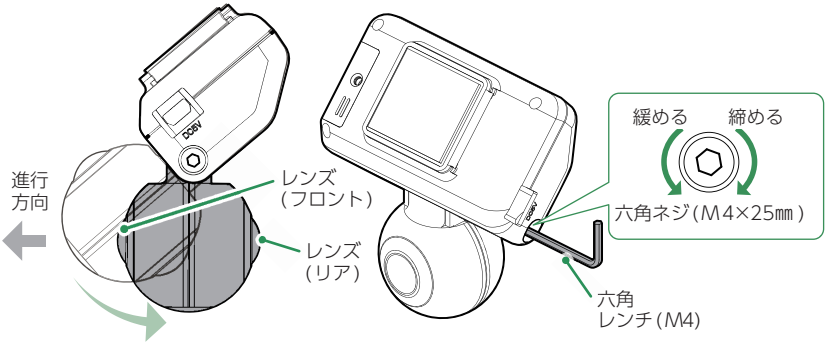
1-4 ブラケットに本体を装着する



ブラケットの溝と本体のジョイントレールを合わせ、矢印の方向にスライドさせてください。

※奥までスライドさせ、軽く引っ張り、本体が外れないことを確認してください。走行中に落下する恐れがあります。

1-5 レンズ(フロント)を進行方向の撮影したい方向に向け、固定する



レンズ位置調整後は付属の六角レンチを使用して、位置がズレないようにレンズ部を押さえながら六角ネジを締めてください。

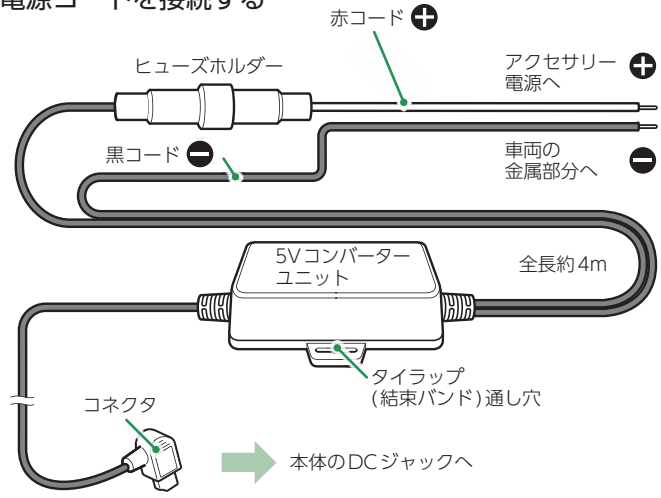
※六角ネジを締めた後はレンズの向きを調整しないでください。レンズ部に無理な力が加わり、破損することがあります。六角ネジを緩めてから調整してください。
※六角ネジは取り外さないでください。

2. 電源を接続する

⚠注 意

赤コード(＋)は、必ずエンジンキーと連動してON/OFF する車両のアクセサリー電源に接続してください。

2-1 電源コードを接続する



付属の電源直結コードを本体のDCジャックと車両へ接続します。

※付属の電源直結コードをご使用ください。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-2 市販品のタイラップ(結束バンド)や両面テープなどを使い、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被服の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。

取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

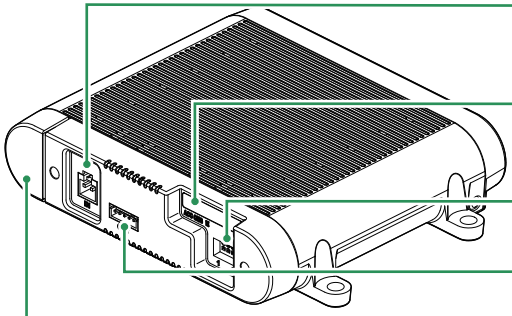
別売品の取り付け

⚠ 注 意

・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

■ OP-MB4000



入力端子(DC12V)
OP-MB4000付属の入力コードを接続します。

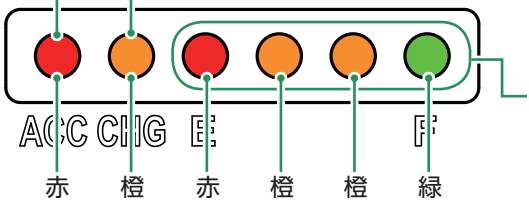
表示LED
給電・充電・電池残量をLEDで表示します。

ディップスイッチ
オフタイマー設定に使用します。

出力端子(DC12V)
別売品の接続ケーブル (OP-CB5R) を接続します。

電源コネクタ

■ 表示LEDについて



OP-MB4000に電源が供給されている時に点灯します。

充電中に点灯、動作温度範囲外で充電を停止し点滅します。
※高速点滅した場合は電池異常のためすぐに使用を中止してください。

電池残量をLEDの点灯数で表示します。
※エンジンOFF後、5秒間点灯します。
※約3時間で満充電になります。

⚠ 注 意

OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクタを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
※電源コネクタを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。

■ OP-MB4000接続時に必要なもの

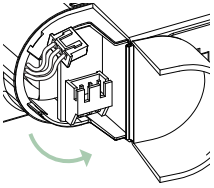
①OP-MB4000　②OP-MB4000付属入力コード　③ 接続ケーブル(OP-CB5R)

1-1 マルチバッテリー設定をする

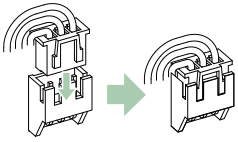
本機は専用ソフトでマルチバッテリーの設定ができます。マルチバッテリー設定の方法は、(☛ P.68「マルチバッテリー設定」)をご参照ください。
マルチバッテリー本体のみで設定する場合は、マルチバッテリーの取扱説明書をご確認の上、設定してください。

1-2 電源コネクタを接続する

①カバーを開ける

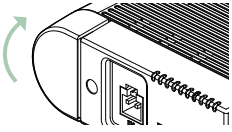


②電源コネクタを接続する



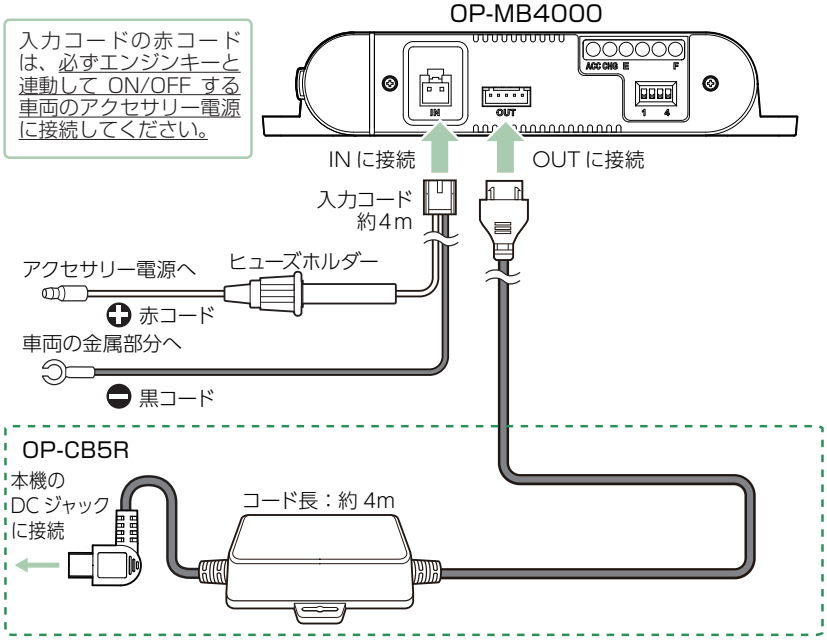
※奥まで確実に差し込んでください。

③カバーを閉じる

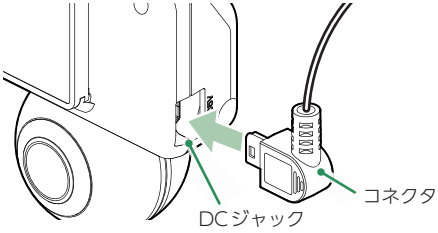


※「カチッ」と音が鳴るまで閉めてください。

1-3 OP-MB4000を車両に接続する



1-4 OP-CB5Rを接続する



別売品のOP-CB5Rを本体のDCジャックへ接続します。

※接続ケーブルのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-5 OP-MB4000付属の面ファスナーや市販品のタイラップなどで固定し、配線処理を行う

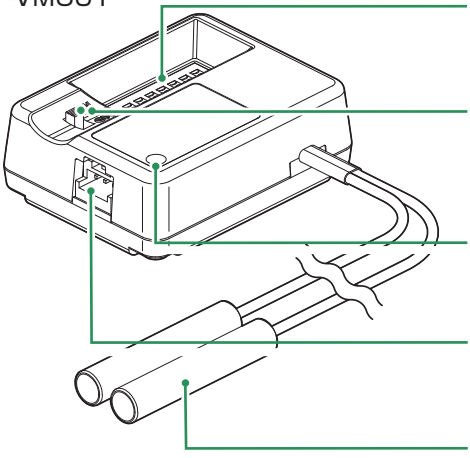
■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- 車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. 電圧監視機能付電源直結ユニット(OP-VMU01)の接続方法

■ OP-VMU01



ディップスイッチ
検出選択設定とオフタイマー設定に使用します。

電源スイッチ
OP-VMU01の電源ON/OFFに使用します。
※2日以上使用されない場合は、電源スイッチをOFFしてください。

表示LED(赤)
車両のエンジンON時、またはOP-VMU01の動作時にLED(赤)が点灯します。

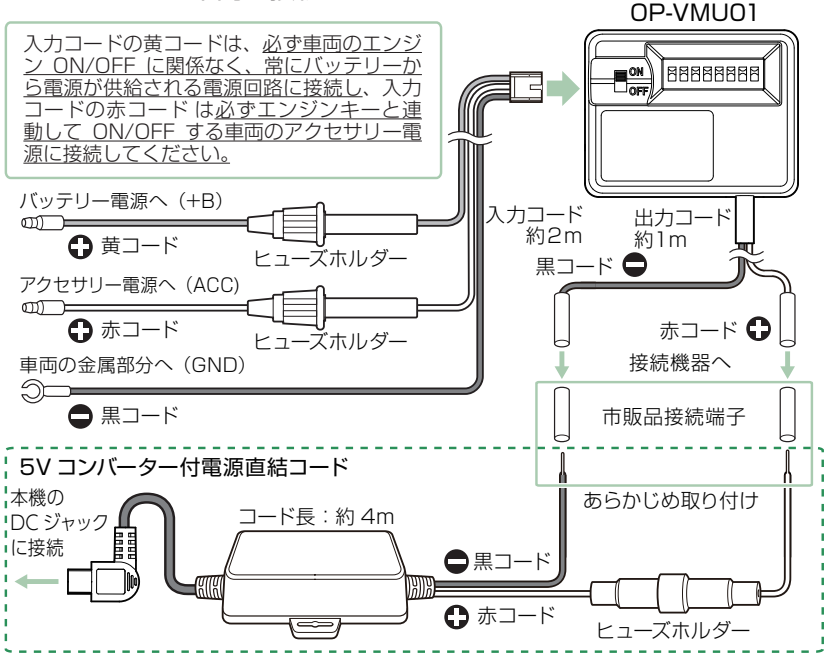
入力端子
OP-VMU01付属の入力コードを接続します。

出力コード
接続機器と接続します。

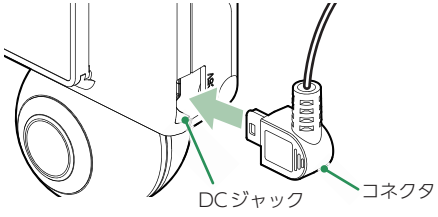
■ OP-VMU01接続時に必要なもの

①OP-VMU01 ②OP-VMU01付属入力コード ③市販品接続端子
④5Vコンバーター付き電源直結コード

2-1 OP-VMU01を車両に接続する



2-2 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードを本体のDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

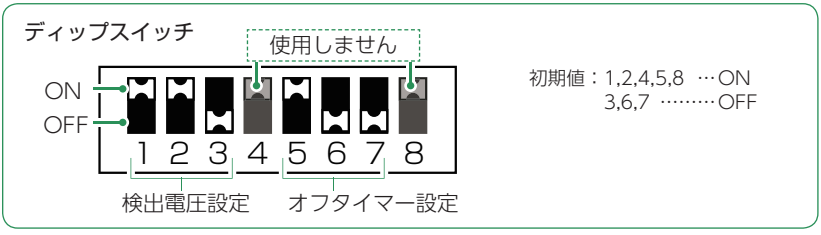
2-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

エンジンOFF後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、エンジンOFF後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

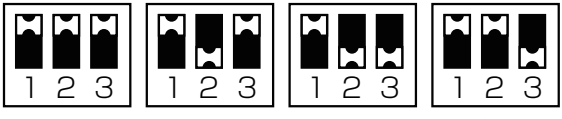
※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

※ディップスイッチの4､8は､使用しません｡初期値(ON)のまま変更しないでください。

※オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーから電源供給を停止します。

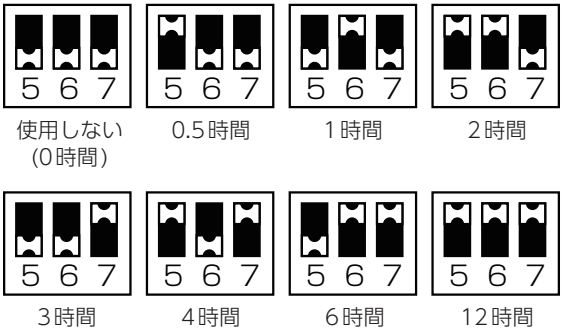


■ 検出電圧設定(1 ～ 3使用) 12V車



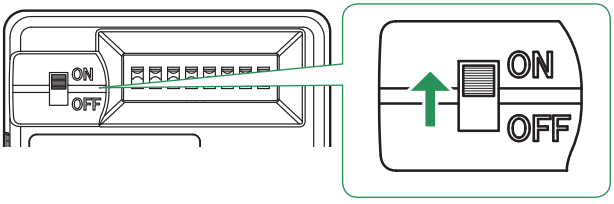
■ 検出電圧設定(1 ～ 3使用) 24V車

■ オフタイマー設定(5～7使用)



オフタイマー設定について
オフタイマー設定を「使用しない(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。
駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-4 電源スイッチをONする



2-5 OP-VMU01付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。
- 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- 車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

専用ソフトの準備

本機で記録した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS：Microsoft Windows 10、8、7
CPU: Core i5相当、3.0GHz以上
メモリ：8GB以上
DirectX9.0c以降のバージョン　（2021年4月現在）

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
※WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。
本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。
※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
※専用ソフトの画面サイズは1024 × 768 ピクセル固定です。
※コントロールパネル内のディスプレイの設定が「100%」になっていないと起動することができません。
※本機の記録解像度は、最大約２８０万画素ですが専用ソフトで表示する場合は、画像処理で減少します。

1. 準備する

弊社ホームページより専用ソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。https://www.yupiteru.co.jp/
※誤って専用ソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ソフトをダウンロードしてください。

2. 設置角度検出をする

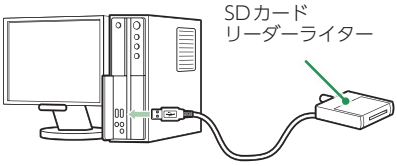
2-1 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする

専用ソフトが起動します。

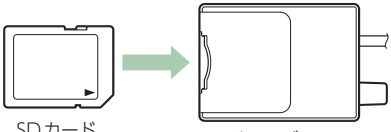
専用ソフトが起動しない場合

「DirectXの初期化に失敗しました」、「d3d9.dllがありません」、「xxx.dllが見つからなかった・・・・」といったエラーに対処するには「DirectX Runtime」のアップデートが必要になります。
「DirectX エンドユーザーランタイム」で検索しダウンロードおよびインストールを行ってください。

2-2 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



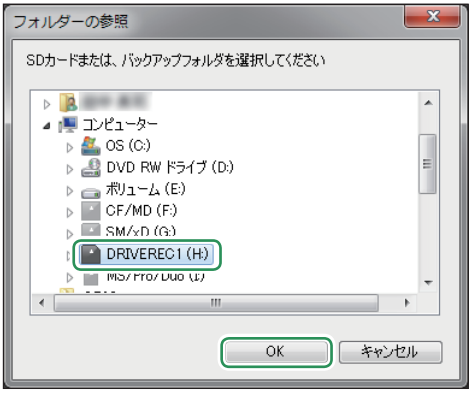
2-3 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



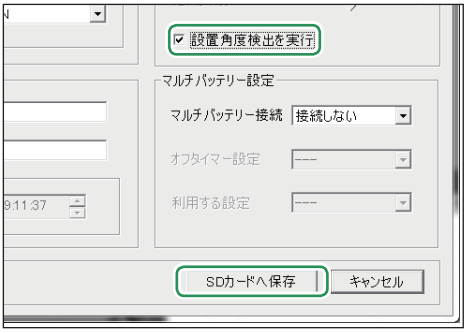
※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

2-4 メニューバーの[ツール]→[記録設定]を選択する

2-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする

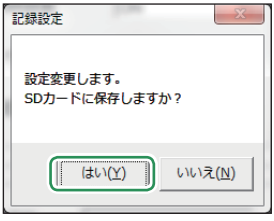


2-6 [設置角度検出を実行]に ☑ を入れ、[SDカード保存]をクリックする



※[設置角度検出を実行]の ☑ は、設定後には外れた状態になります。もう一度設定する時以外は、☑ を入れる必要はありません。

2-7 [はい]をクリックする



2-8 パソコンからSDカードを取り出す

3. 本機の準備

設置角度検出を行いますので、平らな場所でエンジンを ON し、約 10 秒間車両を移動させないでください。

3-1 設定済みのSDカードを本体へ装着する(☛ P.19)

※電源ONする前には必ず六角ネジは緩んでいないか、レンズ位置がズレていないかを確認してください。

3-2 車両のエンジンをONする

録画ランプが紫点灯し、その後青点灯になり録画が開始されます。

※本体から『ピー』と鳴る場合は、SDカードの挿入を確認してください。

■ エラーの症状と対処法

ランプの状態	警告音	症状・対処法
録画ランプ(赤)だけが点灯する	『ピー』と鳴る	・SDカードが挿入されていない。 付属のSDカードまたは別売品のSDカードを挿入してください。
録画ランプ(青・赤)が10秒間交互に点灯する	『ピーピーピー』と鳴る	・付属のSDカードのプロテクトスイッチがON(書込み禁止)になっている。 車両のエンジンをOFFし、付属のSD カードを抜き取り、プロテクトスイッチをOFFにしてから再度挿入してください。 ・本機専用以外のSDカードが挿入されている。 車両のエンジンをOFFし、SDカードを抜き取り、付属のSDカードまたは別売品のSDカードを挿入してください。

準備が終了したら…

本機の準備が終了したら、テストとして映像を記録します。

3-3 車両のエンジンをOFFする

本体の電源OFF後、録画ランプ (紫) が1度だけ点灯し、その後3秒以上消灯したのを確認してください。

※GPS測位している場合、電源OFFした際に本体時刻の補正が自動的に行われます。

3-4 本体からＳＤカードを取り外す(☛ P.20)

テスト映像を記録したら…

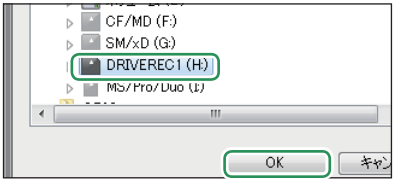
専用ソフトがインストールされているパソコンで映像の確認を行います。

4. テスト記録の確認

4-1 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする

4-2 (フォルダ)をクリックする

4-3 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



※メニューバーの[ファイル]→[データフォルダを指定]→[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

4-4 見たい録画データ名に ☑ を入れ、[読み込み]をクリックする

※複数のデータを選択できます。
※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。
※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。
そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。

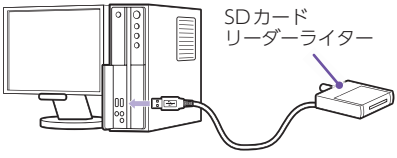
テスト記録を確認したら…

テスト記録に問題が無ければ、記録設定（☛ P.65）をお好みの設定に変更して、SDカードを本体に戻してご使用を開始してください。
問題がある場合は、取り付けや設定を確認して再度動作テストを実行してください。

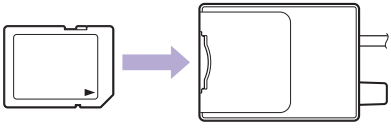
専用ソフトの使いかた

1. 録画データの準備

1-1 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



1-2 付属のSDカードをSDカードリーダーライターに接続する



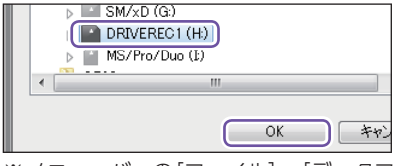
SDカード　　SDカードリーダーライター

※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

1-3 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする

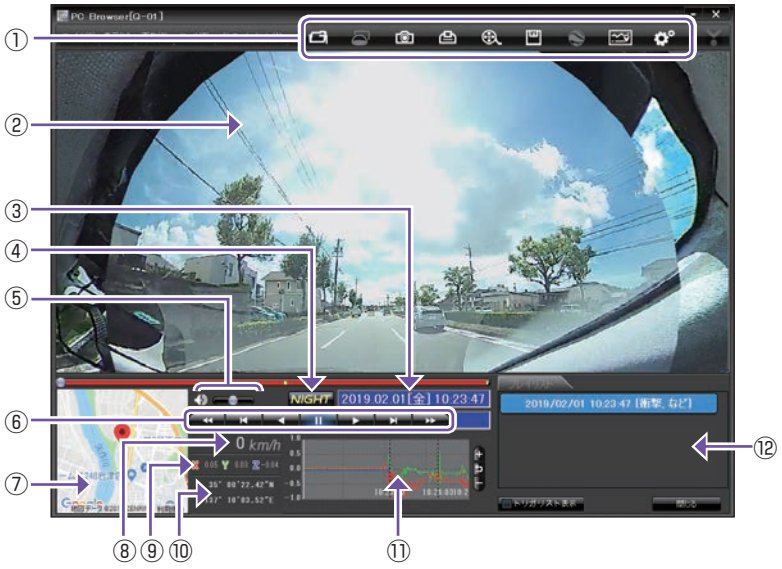
1-4 (フォルダ)をクリックする

1-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



※メニューバーの[ファイル]→[データフォルダを指定]→[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

2. 画面説明



No.	表示名	表示の意味
①	メニューバー	フォルダを指定します。
		静止画に変換します。(☛ P.53)
		印刷をします。(☛ P.54)
		動画変換します。(☛ P.52)
		データのバックアップをします。(☛ P.51)
		ログデータに変換します。(☛ P.57)
		レポートを表示します。(☛ P.59)
		記録設定の変更をします。(☛ P.65)
②	表示エリア	選択したデータの映像を表示します。(☛ P.45「表示エリアの操作」)
③	日付・時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。(☛ P.44)
④	NIGHT(ナイト)モードボタン	映像を明るく表示します。NIGHT：ON、NIGHT：OFF
⑤	音量切替ボタン	ミュート、音量調整(☛ P.50)をします。
⑥	再生ボタン・再生速度	再生や、早送りなどの操作を行います。再生時に再生速度を表示します。(☛ P.49)

No.	表示名	表示の意味
⑦	地図表示	読み込まれた映像はGoogle Maps に連動して自車位置が移動します。インターネットに接続されていないと、地図(Google Maps) は表示されません。 ※表示したくない場合は、[読み込み]をクリックする前にメニューバーの[ツール]→[地図表示選択]→[地図を表示しない]を選択してください。
⑧	走行表示速度	GPSで記録した走行速度を表示します。
⑨	加速度表示	記録されている衝撃(加速度)の値を、前後(X方向：赤色)、左右(Y方向：黄緑色)、上下(Z方向：青色)で表示します。
⑩	緯度・経度表示	GPSで記録した緯度(N)・経度(E)を表示します。
⑪	加速度センサーグラフ	加速度センサーグラフを表示します。(☛ P.50)
⑫	プレイリスト一覧	選択されているデータを表示します。

時刻について

時刻には本体時刻(本体に記録されている時刻)とGPS時刻(GPS測位により取得した時刻)があります。各録画方法により録画データ名で使用される時刻は異なります。

常時録画	本体時刻を使用します。(☛ P.48)
イベント記録	GPS非測位の場合は本体時刻、GPS測位時はGPS時刻を使用します。(☛ P.47)
履歴記録	本体時刻を使用します。(☛ P.55)

録画データ再生中の表示時刻について

録画データを再生中に本体時刻で表示(GPS非測位時)している場合、GPS測位をしたタイミングでGPS時刻に表示を更新します。

GPS非測位(本体時刻)　　GPS測位(GPS時刻)

3. 表示エリアの操作

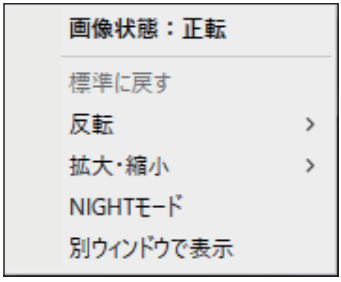
表示エリアでは下記の操作が行えます。

〈移動〉

マウスの左ボタンをドラッグし、表示させたい部分まで移動します。

■ 画像表示エリアメニュー

マウスの右クリックで[画面表示エリアのメニュー]を表示します。



・**画像状態**
画像の向きを表示します。

・**標準に戻す**
反転、拡大・縮小した画像を初期表示に戻します。

・**反転**
[左右反転]をクリックすると、画像を左右に反転します。
[上下反転]をクリックすると、画像を上下に反転します。
[前後反転]をクリックすると、画像を前後に反転します。

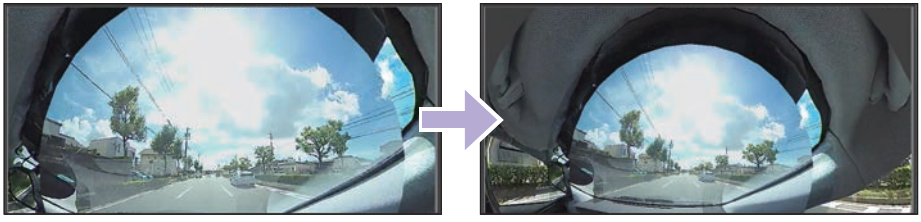
左右反転

上下反転

前後反転

・拡大・縮小
[拡大]をクリックすると、表示画像の中央を基準に画像を200%拡大します。
[縮小]をクリックすると、表示画面の中央を基準に画像を50%縮小します。

拡大

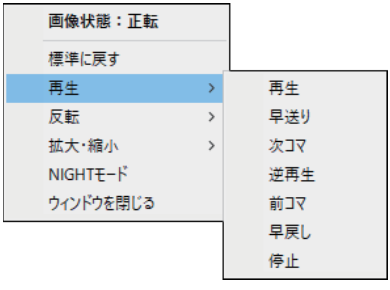


縮小

・NIGHTモード
映像を明るく表示します。

・別ウィンドウで表示
表示エリアの映像をブラウザとは別ウィンドウで表示します。

別ウィンドウ



・再生
別ウィンドウ内で右クリックすると、映像の再生・停止などを操作することができます。

再生する

1. 録画データを再生する(イベント記録)

1-1 イベント記録をクリックする

1-2 見たい録画データ名に ☑ を入れる

※複数のデータを選択できます。
※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

1-3 [読み込み]をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。再生時のボタン操作は
☛ P.49「ボタン操作について」を参照ください。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[イベント]でも同じ画面表示になります。
※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

■ 画面表示について

No	表示名	表示の意味
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表しています。
②	トリガリスト表示ボタン (☛ P.50)	イベント位置（衝撃検知位置やワンタッチ記録位置）を表示します。

イベント記録のデータ名について

衝撃を検知した日付、時間がデータ名となります。

※本体時刻または、GPS測位時はGPS時刻を使用します。(☛ P.44)

2019 / 02 / 01　09 : 14 : 41　衝撃

年　月　日　時　分　秒　トリガ(映像を記録するきっかけ)

●トリガ

衝撃を検知して記録した場合は「衝撃」「急発進/ 急ブレーキ」「急ハンドル」、記録ボタンを押して記録した場合は「ワンタッチ」と表示されます。

※トリガ表示は、走行状態によって実際の衝撃種類と異なって表示される場合があります。

※衝撃が複数あった場合や、衝撃と急発進が重なって発生した場合は「衝撃,など」と記録されます。

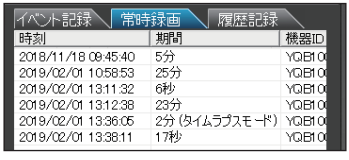
2. 録画データを再生する(常時録画)

2-1 常時録画をクリックする

2-2 見たい録画データ名に ☑ を入れる

・マルチバッテリー設定(☛ P.68)を使用して駐車記録を行った場合…

駐車記録で録画した常時録画の録画データには、期間の後ろに「(タイムラプスモード)」と表示されます。



※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

2-3 [読み込み]をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。再生時のボタン操作は☛ P.49「ボタン操作について」を参照ください。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[常時録画]でも同じ画面表示になります。

■ 画面表示について

No	表示名	表示の意味
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表しています。
②	トリガリスト表示ボタン (☛ P.50)	常時録画中のイベント位置（衝撃検知位置やワンタッチ記録位置）を表示します。

常時録画のデータ名について
日付、時間、期間がデータ名となります。
※本体時刻を使用します。(☛ P.44)

2019 / 02 / 01　11 : 47 : 28　[48分]
年　月　日　時　分　秒　期間（映像の記録時間）

3. ボタン操作について

■ 再生ボタン

映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。
※メニューバーの[再生]からも同様に操作することができます。(☛ P.50)

早戻し　前コマ　逆再生　停止　再生　次コマ　早送り

・[再生] をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止] をクリックすると、クリックした動作を行います。

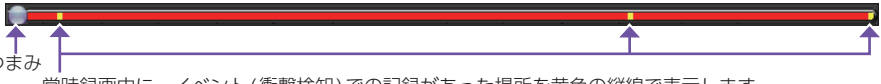
■ 再生スピードの変更

や ボタンを複数回クリックすることで、再生スピードを変更できます。

・ を1回クリックすると1倍速（通常速度）、2回クリックすると0.5倍速（スロー）で[再生]または[逆再生]できます。
・ を1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で[早送り]または[早戻し]できます。

■ 再生位置の変更

つまみをスライドさせ ボタンをクリックすると、その場所から再生できます。

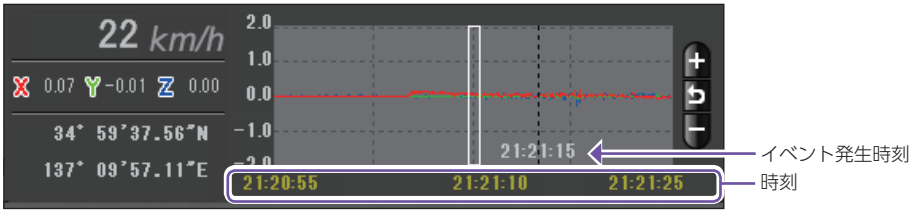


常時録画中に、イベント（衝撃検知）での記録があった場所を黄色の縦線で表示します。

■ 加速度センサー表示

ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。
ボタンをクリックすると標準のスケールになります。

・メニューバーの[表示]→[加速度センサースケール]から[拡大][標準][縮小1][縮小2]を選択、操作をしても同様の動作となります。
・エリア内をクリックすると、クリックしたところにカーソルが移動します。再生を開始したいところでクリックし、再生ボタンで確認ができます。



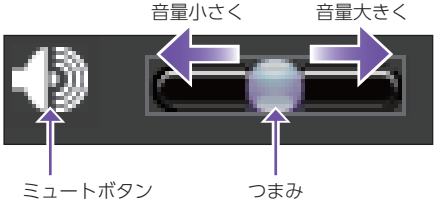
加速度センサーグラフは、記録したデータを加速度(縦軸)と時間(横軸)でグラフ表示します。

■ トリガリスト表示

トリガリスト表示 ボタンをクリックするとイベントのトリガリスト表示に切り替えることができます。

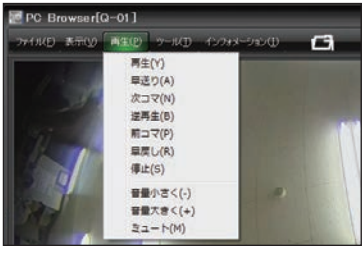
リストの項目をクリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。

■ 音量の調整



・つまみをスライドさせて音量を調整します。
・音を消したい場合はミュートボタンをクリックしてください。
もう一度クリックするとミュートを解除します。

※メニューバーの[再生]からも操作することができます。



保存する

SDカード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

1. バックアップ

SDカードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップできます。

※バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除（☛ P.70）を行ってください。

1-1 データ名の一覧より、保存したい録画データ名に☑を入れ、[読み込み]をクリックする

1-2 (バックアップ)をクリックする

※メニューバーの[ツール]→[バックアップ]でも同じ画面表示になります。
※[全てバックアップ]に ☑ を入れるとSDカードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。

1-3 保存先を指定し、[スタート]をクリックする

バックアップ用に作成したフォルダを指定します。

1-4 [OK]をクリックする

保存が完了すると、「完了しました」と表示されます。[OK]をクリックして終了してください。

2. 動画変換

記録されたデータをAVI形式の動画に変換して保存できます。

動画変換した映像をみる
動画変換して保存したファイルはMicrosoft Media Player Ver12.0以上で再生できます。

2-1 データ名の一覧より、動画変換したい録画データ名に ☑ を入れ、[読み込み]をクリックする

2-2 (動画変換)をクリックする

※メニューバーの[ツール]→[動画変換]でも同じ画面表示になります。

2-3 お好みのファイル名や保存する場所、字幕、変換区間の項目を指定し、[スタート]をクリックする

[日時設定]など、各項目に☑を入れると、保存ファイルに字幕で各情報を表示します。

2-4 [はい]をクリックする

「動画変換は画像変換処理の実行のために長い時間を必要とします。動画変換を実行しますか？」と表示されます。[はい]をクリックしてください。

2-5 [OK]をクリックする

動画変換が完了すると「完了しました」と表示されます。[OK]をクリックして終了してください。

※＊(映像を記録した日時とカメラ番号か、指定した名称).aviファイルが保存されます。

3. 静止画変換

表示エリアに表示されている映像をJPEG形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、[表示中の静止画すべて]または[コマ数指定]を選択します。

静止画変換した映像をみる
静止画変換しJPEG形式で保存した画像はWindowsの標準ソフトで見ることができます。

3-1 データ名の一覧より、静止画変換したい録画データ名に ☑ を入れ、[読み込み]をクリックする

3-2 (静止画変換)をクリックする

※メニューバーの[ツール]→[静止画変換]でも同じ画面表示になります。

3-3 [表示中の静止画すべて]、または[コマ数指定]を選択し、お好みの保存先を指定し、[スタート]をクリックする

・**表示中の静止画像**
表示されている画面の映像を静止画に変換できます。

・**コマ数指定(選択した静止画から)**
表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。
<秒間>
範囲指定された、表示エリアの映像の長さ(秒)を表示しています。
<コマ/秒>
1秒間を何コマで分割するかを設定します。

※選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数(☛ P.65)が反映されます。
※静止画枚数は秒×コマ数になります。

3-4 [OK]をクリックする

静止画変換が完了すると「完了しました」と表示されます。[OK]をクリックして終了してください。

印刷する

1. 記録した映像を印刷する

表示されている映像を印刷することができます。

1-1 データ名の一覧より、印刷したい録画データ名に ☑ を入れ、[読み込み] をクリックする

1-2 印刷をクリックする

※メニューバーの[ファイル]→[印刷]でも同じ画面表示になります。

1-3 [表示中の静止画すべて]または[コマ数指定]を選択し、[確認]をクリックする

・**表示中の静止画**
表示エリアの映像を印刷します。

・**コマ数指定**
表示エリアの映像から範囲指定した時間分を、コマ数指定した数で分割して印刷します。

※選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数(☛ P.65)が反映されます。
※印刷枚数は秒×コマ数になります。

1-4 印刷する

・**印刷**
印刷枚数を確認します。[OK] をクリックすると印刷を行います。

・**プリンタ設定**
印刷するプリンタの設定を行います。

・**1コマ表示**
1枚に1コマの映像データを表示します。

・**4コマ表示**
1枚に4コマの映像データを表示します。

1-5 [閉じる]をクリックする

印刷を終了します。

履歴記録

1. 履歴記録を見る

走行ルートや映像を記録したポイントを確認することができます。本体が電源ONしている間、GPS測位によって約1秒ごとに自車位置を記憶し、設定した時間分(☛ P.65)の履歴(ログデータ)をSDカードに保存します。

※GPS測位できない場合は、自車位置を記録できません。
※合計時間が設定した時間を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。
※履歴(ログデータ)を作らないようにすることはできません。
※履歴記録のデータ名は本体時刻を使用します。(☛ P.44)

1-1 [履歴記録]をクリックする

1-2 データ名の一覧より、見たいデータ名に ☑ を入れる

※複数のデータを選択できます。
※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

1-3 [読み込み]をクリックする

選択したデータが読み込まれ表示されます。再生時のボタン操作は ☛ P.49「ボタン操作について」を参照ください。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[履歴記録]でも同じ画面表示になります。

■ 画面表示について

No	表示名	表示の意味
①	検索	加速度の値を設定し、検索することができます。
②	データ情報（記録開始時刻、本体時刻、GPS時刻、緯度、経度、速度）	映像の記録日などの情報を表示できます。

■ 検索

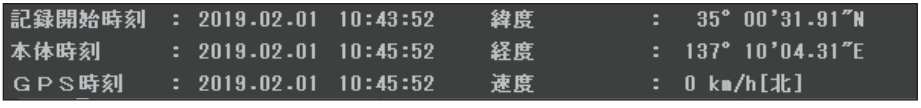
履歴の中から設定した値を越える衝撃（加速度）の映像を検索でき、データとして表示します。

・☑を入れ、任意の数字を入力してください。
・検索ボタンをクリックすると入力した条件で検索します。

No	表示名	表示の意味
①	速度検索値	検索したい速度の値を設定します。
②	加速度しきい値X±	検索したい前後方向の値を設定します。
③	加速度しきい値Y±	検索したい左右方向の値を設定します。
④	加速度しきい値Z±	検索したい上下方向の値を設定します。

■ データ情報

読み込まれたデータ名の記録開始時刻、本体時刻、GPS時刻、緯度、経度、速度(進行方向)を表示します。



ログデータ変換

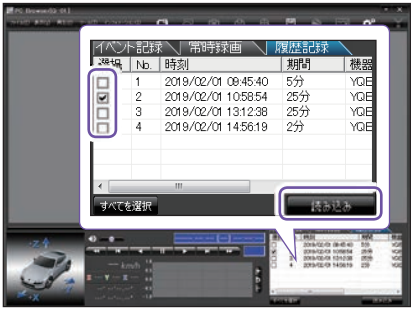
1. Google Earth用のデータに変換する

蓄積された履歴データをKMLファイルに変換できます。変換したKMLファイルを使ってGoogle Earth上で全走行ルートの表示ができます。また記録した映像を静止画に変換して(☛ P.53)Google Earthの機能を使って、ルート上に表示・保存できます。

※あらかじめGoogle Earthのホームページより Google Earthをダウンロードし、パソコンにインストールしておいてください。
※Google Earthのご使用方法等は、Google Earth のホームページをご確認ください。

1-1 [履歴記録]をクリックする

1-2 変換したいデータ名に ☑ を入れ、[読み込み]をクリックする

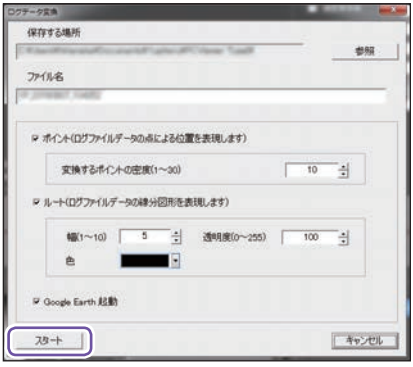


※複数のデータを選択できます。
※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。
※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[履歴記録]を選択しクリックしても同じ画面表示になります。
※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

1-3 (ログデータ変換)をクリックする

※メニューバーの[ツール]→[ログデータ変換]でも同様の動作となります。

1-4 保存する場所、お好みのファイル名、ポイント、ルートを設定し、[スタート]をクリックする



■ ポイント(ログファイルデータの点による位置を表現します)

GPS測位による1秒間隔の自車位置変化をポイントとしてGoogle Earthに表示させ、通過時刻や進行方向を見ることができます。

・**変換するポイントの密度：(1 ～ 30)**
Google Earthに表示させる自車位置の間隔を秒数 (1～30) で設定します。数値を大きくすると間隔が、粗く (広く) なります。数値を小さくすると自車位置の細かな変化を見ることができます。

■ ルート(ログファイルデータの線分図形を表現します)

走行軌跡を線で表示します。

・**幅：(1 ～ 10)**
走行軌跡表示の幅を設定します。

・**透明度：(0 ～ 255)**
走行軌跡表示の透明度を設定します。0 は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。

・**色**
走行軌跡表示の色を設定します。

■ Google Earth起動

ログファイル保存完了後、Google Earthを自動で起動します。

1-5 [OK]をクリックする

保存が完了すると、「完了しました」と表示されます。[OK]をクリックし終了してください。

※[Google Earth起動]に ☑ を入れると、ログファイル保存完了後Google Earthが起動し、画面上に走行軌跡が表示されます。
※走行軌跡はGoogle Earth上の道路や地形と必ずしも一致しません。ズレて表示されることがありますのでご了承ください。

レポート表示する

レポートを作成し表示することができ、またレポートを印刷することもできます。

※ 一度に複数のレポートは表示できません。

1. レポートを表示(印刷)する(イベント記録)

1-1 イベント記録をクリックする

1-2 表示したい録画データ名に ☑ を入れ、[読み込み]をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。

※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

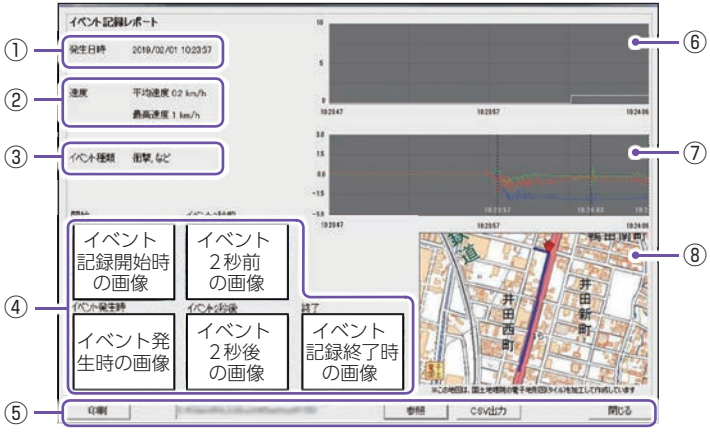
※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※[ファイル]をクリックし[読み込み]から[イベント]をクリックしても同じ画面表示になります。

※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-3 表示したい録画データを選択し、 (レポート表示)をクリックする

イベント記録レポートが表示されます。



No.	表示名		説　明
①	発生日時		イベント発生日時を表示します。
②	速度		平均速度と最高速度を表示します。
③	イベント種類		イベントの種類を表示します。
④	画像		録画データの開始/終了時、イベント発生時とその前後2秒の画像を表示します。
⑤	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑥	速度グラフ		速度グラフを表示します。（縦軸は速度、横軸は時間を示します。）
⑦	加速度グラフ		加速度グラフを表示します。（縦軸は加速度、横軸は時間を示します。）
⑧	地図		地図を表示します。

1-4 印刷する場合は、[印刷]ボタンをクリックする

■ 印刷プレビュー表示例

プレビュー画面が表示されます。

・ボタンの機能

ボタン	説　明
印刷	印刷します。
プリンタ設定	プリンタを設定します。
備考記入	備考欄に記入できます。
閉じる	印刷プレビューを閉じます。

2. レポートを表示(印刷)する(常時録画)

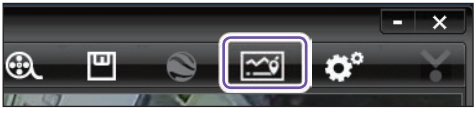
2-1 常時録画をクリックする

2-2 表示したい録画データ名に☑を入れ、[読み込み]をクリックする

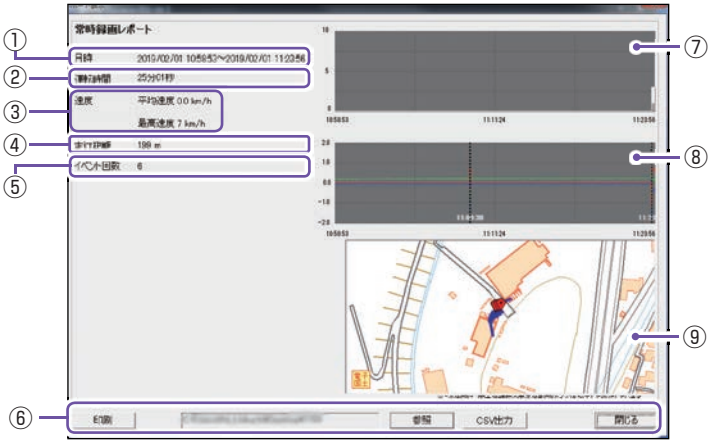
選択した録画データが読み込まれ表示されます。

※複数のデータを選択できます。
※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに☑が表示されます。
※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
※[ファイル]をクリックし[読み込み]から[イベント]をクリックしても同じ画面表示になります。
※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

2-3 表示したい録画データを選択し、(レポート表示)をクリックする



常時録画レポートが表示されます。



No.	表示名		説　明
①	日時		録画データの日時を表示します。
②	運転時間		運転時間を表示します。
③	速度		平均速度と最高速度を表示します。
④	走行距離		走行距離を表示します。
⑤	イベント回数		イベント回数を表示します。
⑥	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑦	速度グラフ		速度グラフを表示します。（縦軸は速度、横軸は時間を示します。）
⑧	加速度グラフ		加速度グラフを表示します。 （縦軸は加速度、横軸は時間を示します。）
⑨	地図		地図を表示します。

2-4 印刷する場合は、[印刷]ボタンをクリックする

■ 印刷プレビュー表示例

プレビュー画面が表示されます。

・ボタンの機能

ボタン	説　明
印刷	印刷します。
プリンタ設定	プリンタを設定します。
備考記入	備考欄に記入できます。
閉じる	印刷プレビューを閉じます。

3. レポートを表示(印刷)する(履歴記録)

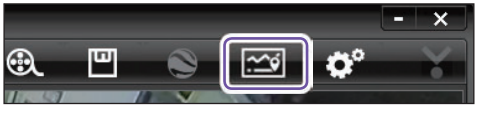
3-1 履歴記録をクリックする

3-2 表示したいデータ名に ☑ を入れ、[読み込み]をクリックする

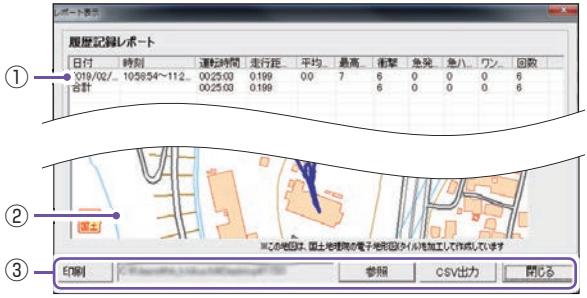
選択したデータが読み込まれ表示されます。

※複数のデータを選択できます。
※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに☑が表示されます。
※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
※[ファイル]をクリックし[読み込み]から[イベント]をクリックしても同じ画面表示になります。
※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

3-3 表示したいデータを選択し、(レポート表示)をクリックする



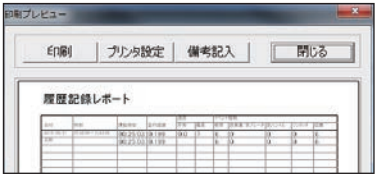
履歴記録レポートが表示されます。



No.	表示名		説　明
①	日付		記録年月日を表示します。
	時刻		記録開始から終了の時刻を表示します。
	運転時間		運転時間を表示します。
	走行距離		走行距離を表示します。
	平均速度		平均速度を表示します。
	最高速度		最高速度を表示します。
	衝撃		「衝撃」イベントの回数を表示します。
	急発進/急ブレーキ		「急発進/急ブレーキ」イベントの回数を表示します。
	急ハンドル		「急ハンドル」イベントの回数を表示します。
	ワンタッチ		ワンタッチ記録の回数を表示します。
	回数		イベント回数の合計を表示します。 その他のイベントも含みます。
②	地図		地図を表示します。
③	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。

3-4 印刷する場合は、[印刷]ボタンをクリックする

■ 印刷プレビュー表示例



プレビュー画面が表示されます。

・ボタンの機能

ボタン	説　明
印刷	印刷します。
プリンタ設定	プリンタを設定します。
備考記入	備考欄に記入できます。
閉じる	印刷プレビューを閉じます。

設定を変更する

①「記録設定」
②「システム」
(☛ P.67)
③「衝撃感度設定」
(☛ P.67)
④「マルチバッテリー設定」
(☛ P.68)
⑤「SDカードフォーマット」
(☛ P.70)
⑥「録画データ削除」
(☛ P.70)
⑦「バックアップ」
(☛ P.71)

・設定変更を行う場合は必ずSDカードをSDカードリーダーライターに接続してご使用ください。設定内容はSDカードに保存されます。
・設定変更後は、必ず[SDカードへ保存]をクリックして設定をSDカードに保存してください。
・SDカードを本体に戻し、本体を電源ONすると設定内容が読み込まれ本体に反映されます。

1. 記録設定

(記録設定) をクリックすると、各種の設定変更やSDカードの初期化や録画データのバックアップ、SDカードからの録画データの削除を行うことができます。
※メニューバーの[ツール]→[記録設定]でも同じ画面表示になります。

■ 録画方法

録画する方法を[常時録画][イベント記録][常時＋イベント]から選択できます。
※初期値は[常時＋イベント]です。

常時録画	エンジン始動時からエンジン停止直前までの映像をSDカードに記録します。「30コマ/秒」で、付属のSDカード(16GB)に約140分の常時録画が可能です。 ※[常時録画]に設定した場合、イベント記録の映像は記録されません。ただし、イベント検出されたことは、常時録画の録画データ内にトリガとして記録されます。
イベント記録	衝撃を検知した場合に映像を記録します。
常時＋イベント※1	常時録画を行いながら衝撃を検知した場合、映像を別のデータで記録します。

※1:「イベント記録コマ数」が表示されます。

記録形式変更時の注意

すでにSDカードに記録した録画データがあり、現在の設定から別の記録形式へ変更する場合([常時録画] から [イベント記録] への変更など) は、SDカードに記録されている録画データを削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。

設定を変更する場合は、SDカードに記録している録画データをパソコンなどにバックアップしてください。(☛ P.51)

削除した録画データは、元に戻せませんのでご注意ください。

■ 録画コマ数

記録する映像のコマ数を選択できます。

※初期値は[30コマ/秒]です。

録画コマ数	30,15,10,5,1コマ/秒、2,1コマ/分※1、12,6/時※1

※1:[常時録画][常時録画+イベント]で有効になります。

※1:録画コマ数を[2コマ/分]、[1コマ/分]、[12コマ/時]、[6コマ/時]に設定した場合、イベント記録コマ数は[1コマ/秒]になります。

■ イベント記録時間

イベント記録時間を設定します。

衝撃検知前の時間(秒)と衝撃検知後の時間(秒)の組み合わせを選択できます。

※初期値は[10,10 [20秒]]です。

イベント記録時間	60秒(30,30)、50秒(30,20) (25,25) 40秒(20,20) (25,15) (30,10)、30秒(18,12) (20,10) 20秒(10,10) (12,8) (15,5)

■ 音声記録

音声も記録する場合に[ON]にします。

※初期値は[ON]です。

■ 履歴記録時間

24時間、168時間、480時間のログ(加速度/時間)を記録します。

※初期値は[24時間]です。

■ 履歴記録コマ数

1秒間に記録する履歴記録のコマ数を[1コマ/秒][2コマ/秒]から選択できます。

※初期値は[1コマ/秒]です。

■ 上書きモード

SDカードの空き容量が不足したときの映像や履歴の保存方法を選択できます。

[ON]または[OFF]から選択します。

ON	SDカードの容量がいっぱいになると古いデータから順に上書きします。
OFF	SDカードの容量がいっぱいになると映像は保存しません。

※初期値はすべての録画方法で[ON]です。

2. システム

■ ビープ音

イベント記録時のビープ音のON/OFFを設定できます。

※初期値は[ON]です。

■SDカードID

SDカードIDを設定できます。SDカードIDと本機IDをログに書き込むことでSDカードと本機の管理に役立てることができます。

■ パスワード

設定変更、録画データ閲覧を制限するためのパスワードを設定できます。(1000 ～ 9999 の4 桁)

■ 日時設定

[□設定する]に ✔ を入れ、日付や時刻を設定できます。

※本体を電源ONするとSDカードから読み込み、日時を修正します。
現在時刻ではなく、次に本体を電源ONする日付や時刻を想定して設定してください。

※GPS測位している場合、電源OFFした際に本体時刻の補正が自動的に行われます。

■ 使用機種

使用する機種を選択できます。使用する機種を選択し[機種変更を実行]をクリックしてください。

※メニューバーの[ツール]→[機種選択]からも使用機種を選択できます。

3. 衝撃感度設定

■Gセンサ記録

Gセンサー記録の[有効]、[無効]を切り替えます。(☛ P.22「イベント記録」)

※初期値は[有効]です。

※[有効]にした場合、[常時録画]に設定していても、衝撃検出を行い、常時録画の録画データにトリガのみマークします。

※[無効]にした場合、すべての録画方法において、Gセンサー記録を行いません。

■ 簡単設定モード

衝撃感度を選択できます。

敏感(1)～鈍感(9)までの9段階から設定できます。工場出荷時は[5]に設定されています。

感度レベル	動作・使用条件
1(敏感)	急ハンドルや急ブレーキ等、危険運転も記録したい場合
	標準設定(基本的に事故のみを記録)
9(鈍感)	通常運転時に反応してしまう場合

※車両や運転によって異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

簡単設定モードの ☑ を外すと衝撃、急発進/急ブレーキ、急ハンドルの各感度を敏感～鈍感までの9段階から個別に設定できます。

・加速や減速、路面の凹凸などに反応（本体から『ピー』と鳴る）しすぎる場合は、感度を鈍感側にしてください。
・感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
・動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。

■ 設置角度検出を実行

本機を初めて取り付けたときや、設置場所を変更した場合は設置角度検出を実行してください。

※操作手順は ☛ P.37 を参照ください。

4. マルチバッテリー設定

別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）を接続ケーブル（OP-CB5R）で接続することで、専用ソフトからマルチバッテリー（OP-MB4000）の設定をすることができます。

※マルチバッテリー設定を使用して駐車記録を行った場合、常時録画の録画コマ数が「1コマ/秒」以上の場合、「1コマ/秒」で固定されます。

■ マルチバッテリー接続

マルチバッテリー設定をする場合は［接続する］にします。

※初期値は［接続しない］です。
※OP-MB4000を接続しない場合、またはOP-CB5Rを使用せずにOP-MB4000を接続する場合は、マルチバッテリー接続を「接続しない」にしてください。
※［接続する］にした場合、下記項目が設定できます。

■ オフタイマー設定

別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）から電源を供給する時間を設定します。

※初期値は［使用しない］です。
※オフタイマー設定に関係なく、マルチバッテリー（OP-MB4000）の本体内蔵電池が少なくなった場合には、電源供給を停止します。

オフタイマー	使用しない、0.5時間、1時間、2時間、3時間、4時間、6時間、12時間

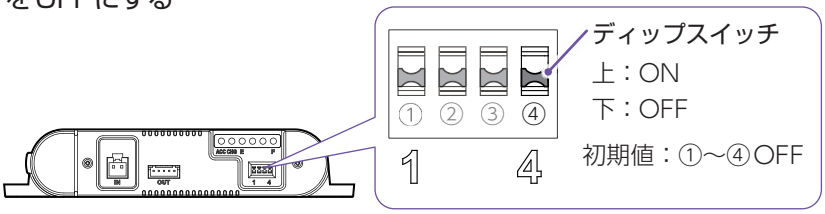
■ 利用する設定

専用ソフト（［PC Browser設定］）または、マルチバッテリー（OP-MB4000）［ディップスイッチ設定］のどちらの設定を利用するか選択します。

※初期値は［PC Browser設定］です。専用ソフトのオフタイマー設定を反映させるには、必ず初期値［PC Browser設定］にしてください。
※［ディップスイッチ設定］を使用する場合は、必ずマルチバッテリー（OP-MB4000）のディップスイッチの④をOFFにしてください。（☛ P.69）

例：専用ソフトのオフタイマー設定を３時間にする場合

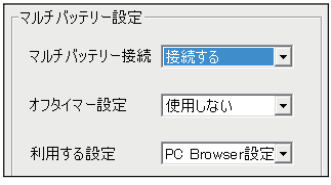
4-1 別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)のディップスイッチの④をOFFにする



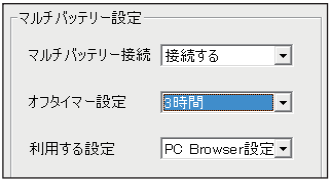
接続機器と通信する設定になります。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

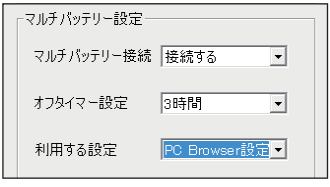
4-2 専用ソフトのマルチバッテリー接続を[接続する]にする



4-3 専用ソフトのオフタイマー設定を[3時間]にする



4-4 専用ソフトの利用する設定を[PC Browser設定]にする



専用ソフトのオフタイマー設定を使用する場合、必ず手順「4-1、4-2、4-4」は上記の設定にしてください。上記以外の設定にした場合、設定は反映されません。

5. SDカードフォーマット

一度SDカード内のデータをすべて消去し、必要なデータを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SDカードからの読み込みが遅くなった場合にフォーマットを行ってください。また、数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードのフォーマットを行ってください。(☛ P.13「SDカードフォーマットの手順」)

※パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

※必ずSDHC規格またはSDXC規格に対応したSDカードリーダーライターやカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。それぞれの規格に対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

6. 録画データ削除

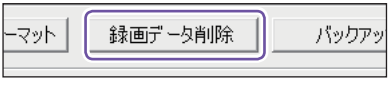
録画データ削除をクリックすると［録画データ削除］と［記録設定データ初期化］が選択画面に表示されます。

・SDカード内に記録されたデータを削除します。

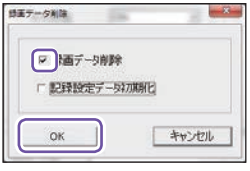
・いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。(☛ P.51)

■ 録画データ削除

6-1 ［録画データ削除］をクリックする



6-2 ［録画データ削除］に ☑ が入っていることを確認し、［OK］をクリックする

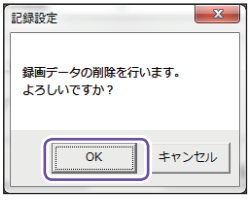


・録画データ削除
☑ を入れると録画データを削除します。

・記録設定データ初期化
☑ を入れると記録設定データを初期化します。

※録画データの削除と初期化を同時に行う場合は、両方に ☑ を入れてください。

6-3 ［OK］をクリックする



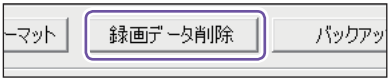
6-4 [OK]をクリックする

録画データ削除が完了すると「録画データ削除が完了しました。」と表示されます。[OK]をクリックして終了してください。

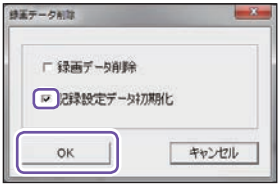
■ 記録設定データ初期化

記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

6-1 [録画データ削除]をクリックする



6-2 [録画データ削除]の☑をはずし、[記録設定データ初期化]に ☑ を入れ[OK]をクリックする



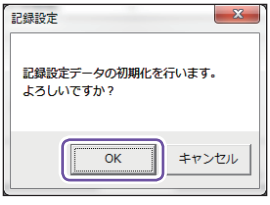
記録設定データの初期化が完了します。

・録画データ削除
☑を入れると録画データを削除します。

・記録設定データ初期化
☑を入れると記録設定データを初期化します。

※録画データの削除と初期化を同時に行う場合は、両方に☑を入れてください。

6-3 [OK]をクリックする



6-4 [OK]をクリックする

記録設定データ初期化が完了すると「記録設定データの初期化が完了しました。」と表示されます。[OK]をクリックして終了してください。

7. バックアップ

SDカードに記録されてるデータをパソコンなどにバックアップできます。

※操作手順は、☛ P.51 を参照ください。

インフォメーション

■ バージョン情報

ソフトウェアのバージョンなどを表示します。

■ ホームページ

クリックするとユピテルホームページを開くことができます。

※画面右上の Yupiteru をクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

別売品のSDカードを使用する前に・・・

別売品のSDカード(OP-SD16、OP-SD32、OP-SD64、OP-SD128)を本機で使用する場合、「SDカードフォーマット」と「使用する機種での設定(機種選択)」が必要になります。使用前には必ず下記の手順で行ってください。

※そのまま使用した場合、正常に動作しません。あらかじめご了承ください。
※専用ソフトに接続した際に、「有効なSDカードではありません」と表示された場合にも下記の操作を行ってください。
※別売品のSDカード(OP-SD64、OP-SD128)をお使いのときは、リーダーライターがSDXCメモリーカードに対応しているかご確認ください。対応していないリーダーライターに接続すると、SDXCメモリーカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

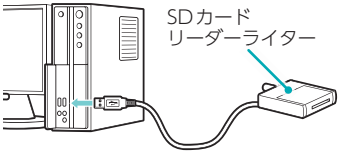
1. 使用前の準備

1-1 最新の専用ソフトに更新する

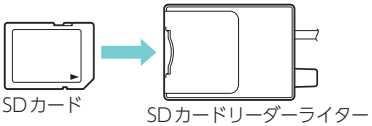
下記のURLから最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

1-2 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



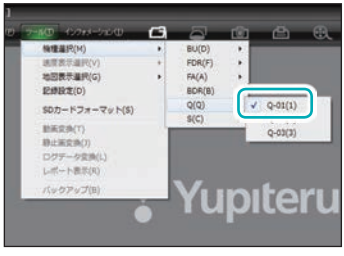
1-3 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

1-4 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする

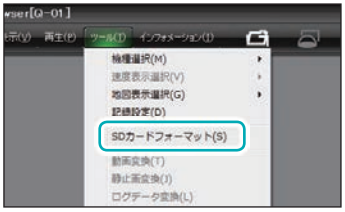
1-5 メニューバーの[ツール]→[機種選択]→[Q-01]を選択する



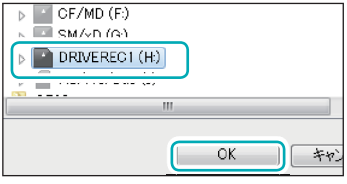
PC Browserの右側に[Q-01]と表示されます。

※間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

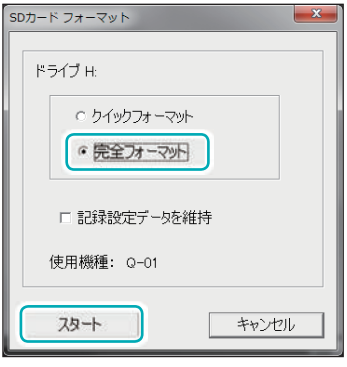
1-6 メニューバーの[ツール]→[SDカードフォーマット]を選択する



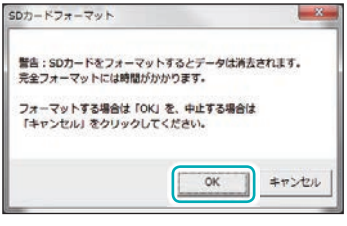
1-7 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



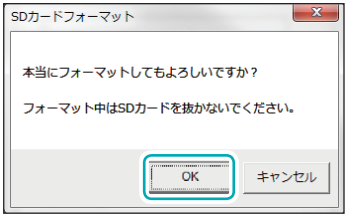
1-8 [完全フォーマット]を選択し、[スタート]をクリックする



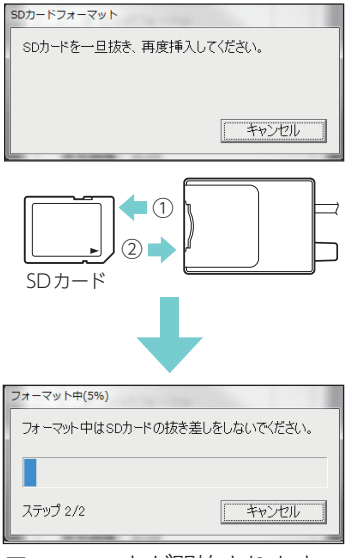
1-9 [OK]をクリックする



1-10 [OK]をクリックする

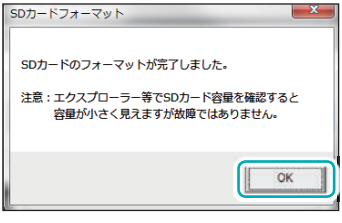


1-11 SDカードを抜き差しする



フォーマットが開始されます。

1-12 [OK]をクリックする



以上で使用前の準備は終了です。
各種設定(☛ P.65)を行ってから
SDカードをパソコンから取り出し、
本機に装着してご使用ください。

SDカードの機種設定の確認 / 変更

専用ソフトで、SDカードの機種設定を確認することができます。SDカードの機種設定と使用するドライブレコーダーが異なると、録画できない場合があります。使用するドライブレコーダーを変更する場合は、必ずSDカードの機種設定を変更してください。(☛P.76)

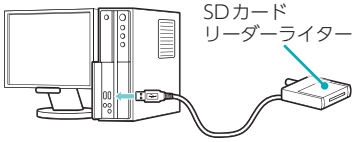
1. SDカードの機種設定を確認する

1-1 最新の専用ソフトに更新する

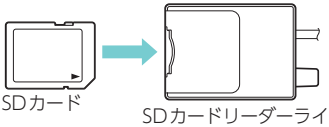
下記のURLから最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

1-2 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



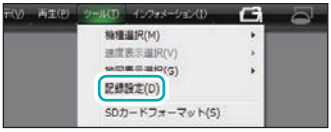
1-3 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



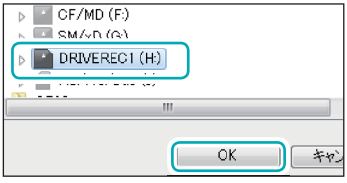
※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

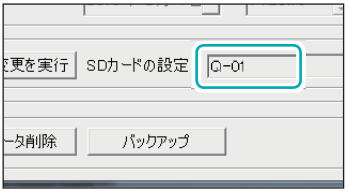
1-4 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする

1-5 メニューバーの[ツール]→[記録設定]を選択する



1-6 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



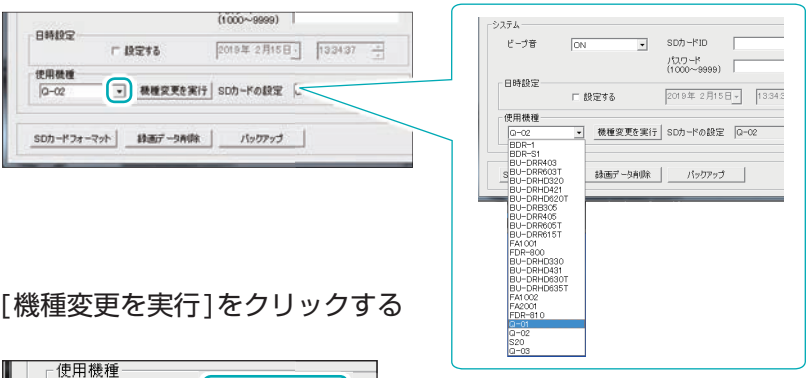


設定画面の「SDカードの設定」に設定している機種名が表示されます。

2. SDカードの機種設定を変更する

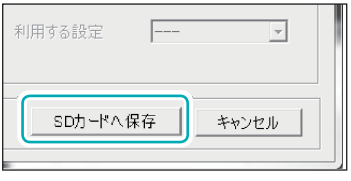
例）Q-02で設定されたSDカードをQ-01に変更する。

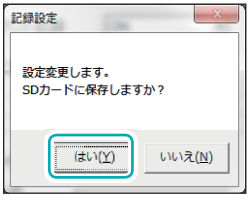
2-1 設定画面の[使用機種]をクリックし使用機種を選択する



2-2 [機種変更を実行]をクリックする

2-3 [SDカードへ保存]をクリックし、[はい]をクリックする

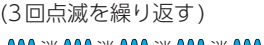
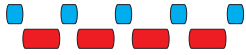
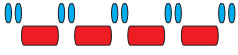
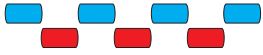




使用機種が変更されます。

※「設定が変更されたためデータを削除します。バックアップしますか？」と案内を表示する場合があります。表示した場合は、SDカードをフォーマットし録画データが削除されます。必要に応じて録画データをバックアップしてください。

動作一覧

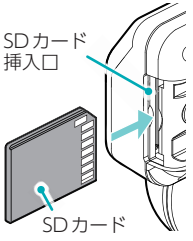
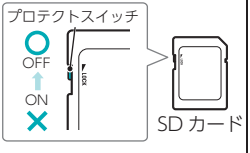
本体の動作	録画ランプの状態	ビープ音	参照ページ
常時録画中	点灯 (青)	なし	☛ P.21
常時録画中(上書き時)	点滅(遅い) (青)	なし	☛ P.21
イベント記録中	点滅(早い) (青)	『ピーーーー』と鳴る	☛ P.22
イベント記録中(上書き時)	点滅(3回点滅を繰り返す) (青) 	『ピーーーー』と鳴る	☛ P.22
駐車記録中(常時録画) ※ マルチバッテリー設定を使用した場合。	点滅(早い青と遅い赤が交互に点滅) (青) (赤) 	なし	☛ P.68
駐車記録中(常時録画:上書き時) ※ マルチバッテリー設定を使用した場合。	点滅(青2回の点滅と赤が交互に点滅) (青) (赤) 	なし	☛ P.68
駐車記録中(イベント記録中) ※ マルチバッテリー設定を使用した場合。	イベント記録中の動作と同様になります。		
駐車記録中(イベント記録中:上書き時) ※ マルチバッテリー設定を使用した場合。	イベント記録中(上書き時)の動作と同様になります。		
イベント記録待機中 ※ 録画方法を「イベント記録」に設定し、本機を起動した場合。	点滅(遅い) (赤)	なし	☛ P.65
起動準備中	点滅(青と赤が交互に点滅) (青) (赤) 	なし	なし

※いずれの記録方法もSDカードの上限に達していない場合。
※マルチバッテリー設定を使用しない場合の駐車記録は、常時録画・イベント記録の動作と同様になります。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にランプと音でお知らせします。

※音を止める場合は、記録ボタンを押してください。

ランプの状態 （録画ランプ 青・赤）	警告音	症状・対処法
（青）消灯 （赤）点灯	『ピー』と鳴る	□ 付属のSDカードが正しく挿入されていません。 付属のSDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFし、付属のSDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。 
（青）点灯 消灯 点灯 消灯 消灯 （赤）消灯 消灯 点灯 10秒間交互に点滅　赤だけ点灯	『ピーピーピー』と鳴る	□ SDカードのプロテクトスイッチがON（書き込み禁止）になっていませんか。 車両のエンジンをOFFして、付属のSDカードを抜き取り、プロテクトスイッチをOFFにして、再度正しく挿入してください。  □ 本機専用以外のSDカードが挿入されていませんか。 付属品または本機専用のSDカードを正しく挿入してください。（☛ P.19） □ SDカードを専用ソフトでフォーマットしてください。（☛ P.13）
（青）点灯 消灯 点灯 消灯 点灯 消灯 （赤）消灯 点灯 消灯 点灯 消灯 点灯 交互に点滅	『ピーピーピーピー』と4回だけ鳴る	□ SDカードの容量が不足しています。 ・専用ソフトで「上書きモード」を[ON]にする。（☛ P.65） ・容量が大きいSDカードで録画する。（☛ P.18） ※履歴記録の容量が不足している場合は、警告音によるお知らせのみになります。
（青）消灯 消灯 消灯 消灯 （赤）消灯 消灯 消灯 消灯 交互に点滅	『ピー』と鳴る	□ 機器の異常です。すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。（☛ P.87）

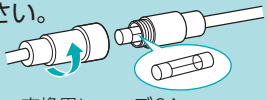
故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源がONにならない

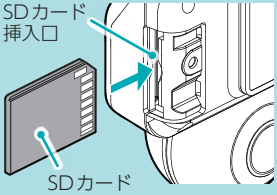
□ 電源コードが外れていないか確認してください。

□ 電源コードのヒューズが切れていないか確認してください。
切れている場合は、同じ容量(2A)の新しいヒューズと交換してください。(☛ P.25)



交換用ヒューズ2A
(20mm×5.2mm)

□ 付属のSDカードを装着していますか、または抜けかけていませんか。
付属のSDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFし、付属のSDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(☛ P.19)



本体から『ピー』と警告音が鳴る

□ 付属のSDカードが正しく挿入されていますか。
付属のSDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFにし、10秒経ってから付属のSDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。

SDカードに録画データが保存されていない

□ 録画データのバックアップ等を行い、専用ソフトでSDカードをフォーマットしてください。(☛ P.13)

□ SDカードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。
付属品、または別売品のSDカード以外は使用しないでください。
製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

専用ソフトが起動できない/ 起動できるが、SDカードのデータを読み込めない

□ パソコンにDirectX9.0c 以降のバージョンがインストールされていますか。
DirectX9.0c以降のバージョンがインストールされていないと起動できない場合があります。DirectX9.0c以降のバージョンをインストールするかアップデートしてください。

映像が記録できない

□ 付属のSDカードが正しく挿入されていますか。
付属のSDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFにし、付属のSDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(☛ P.19)

□ 記録設定の上書きモードがOFFになっていませんか。
上書きモードがOFFの場合上書きができません。
SDカードを取り出し、専用ソフト上で設定を変更します。(☛ P.65)

室内の映像が暗い

□ NIGHT(ナイト)モードをONにしてください。
映像を明るく表示します。(☛ P.43、46)

イベント記録がうまく働かない

□ 加速や減速、路面の凹凸などに反応しすぎる場合は、専用ソフトで衝撃感度を鈍感側に設定してください。(☛ P.67)
感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。

□ SDカードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。
付属品、または別売品のSDカード以外は使用しないでください。
製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

駐車記録ができない(マルチバッテリー(OP-MB4000)を接続した場合)

□ 別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)の電源コネクタは接続されていますか。(☛ P.31)

□ 別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)のマルチバッテリー設定はしてありますか。

駐車記録ができない(電圧監視機能付電源直結ユニット(OP-VMU01)を接続した場合)

□ 別売品の電圧監視機能付電源直結ユニット(OP-VMU01)の電源スイッチがONになっていましたか。(☛ P.34)

□ 別売品の電圧監視機能付電源直結ユニット(OP-VMU01)の検出電圧設定、オフタイマー設定はしてありますか。

専用ソフトのマルチバッテリー設定が反映されない

□ 別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)を接続ケーブル(OP-CB5R)で接続していますか。

□ 正しい設定をしていますか。(☛ P.69)

専用ソフトを起動すると「このSD カードの記録データを読み込むことができません。実行ユーザーの権限などを確認してください。(3.5)」と表示される

□「管理者権限」で専用ソフトを起動していますか。

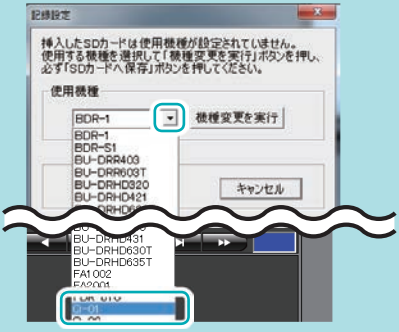
パソコンのローカルディスクC：¥Program Files※1 ¥PC Browser フォルダを開いて、「PCBrowser.exe」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「互換性」タブ内の、「特権レベル」から、「管理者としてプログラムを実行する」にチェックを入れてください。

※1：32bit 環境の場合は「Program Files」と表示され、64bit 環境では「Program Files (x86)」と表示されます。

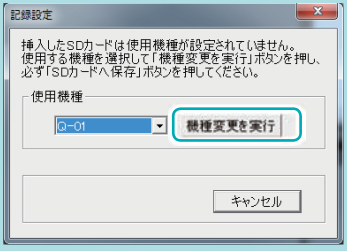
専用ソフトでSDカードを読み込むと「挿入したSDカードは使用機種が設定されていません。」と表示される

□ 下記の手順に沿って使用機種を設定してください。

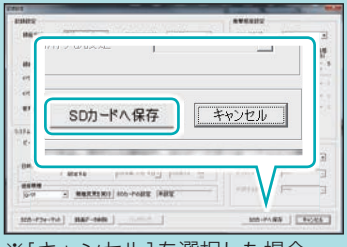
①使用機種の ▾ をクリックし使用機種を選択する



②[機種変更を実行]をクリックする

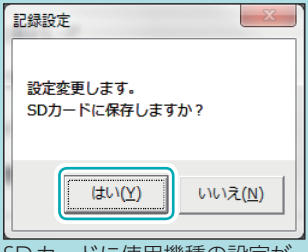


③設定画面の[SDカードへ保存]をクリックする



※[キャンセル]を選択した場合、設定が保存されません。

④[はい]をクリックする



SDカードに使用機種の設定が保存されます。

仕　様

外形寸法 (突起部除く)	78(W)×67(H)×58(D)mm（突起部除く） ※取付ブラケット（テープ貼付)装着時79(H)mm（窓ガラス25°想定の場合）
本体重量	約115g (SDカード含む)
記録媒体	SDHCカード（8GB ~ 32GB）（16GB付属)、 SDXCカード (64GB ~ 128GB)
撮影素子	200万画素カラー CMOS　2個搭載
視野角	水平360°× 垂直360°（2カメラ映像を合成）
記録解像度	最大280万画素※1
	2560 × 1080
GPS	有
Gセンサー	有
画質	HDR（ハイダイナミックレンジ）
記録方式	常時録画／イベント記録（Gセンサー記録、ワンタッチ記録<手動録画>）
音声	ON ／ OFF可能
イベント記録時間 （前後記録時間）	60秒 (30,30)、50秒 (30,20) (25,25)、40秒 (20,20) (25,15) (30,10)、 30秒(18,12) (20,10)、20秒(10,10) (12,8) (15,5)
フレームレート	30コマ／秒 、15コマ／秒 、10コマ／秒 、5コマ／秒 、1コマ／秒 2コマ／分※2、1コマ／分※2　　12コマ／時※2、6コマ／時※2
映像ファイル形式	独自フォーマット
記録映像 再生方法	専用ブラウザソフト※3 (弊社ホームページよりダウンロードできます。)
最低被写体照度	1LUX（ルクス）
電源電圧	DC12V ／ 24Vマイナスアース車用（5V入力）
消費電力	7W
動作温度範囲	-10℃～+60℃
製品保証期間	3年（消耗品は除く）

※上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。
※1：専用ブラウザソフトの画像処理で減少します。
※2：イベント記録のコマ数は[1コマ／秒]になります。
※3：Microsoft Windows10、8、7に対応。

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V（最大6A）
出力電圧	出力端子B：12V（1A）
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
内蔵電池	ニッケル水素電池　12V/4,000mAh
動作温度範囲	0 ～ 45℃
外形寸法	144(W)×33(H)×131(D)mm(突起部除く)
本体重量	約950g（内蔵電池含む）

別売品：電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	DC12V/24V（入力に準ずる）
検出電圧設定値	12V車：11.6V/11.8V/12V/12.2V、24V車：23.6V/23.8V/24V/24.2V
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
動作温度範囲	-10 ～ 60℃
外形寸法	46(W)×36(H)×16(D)mm(突起部除く)
本体重量	約34g

・本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

映像記録時間の目安

下記表は目安で、絶対保障値ではありません。被写体や周囲環境などの要因により、録画可能時間と件数は変化します。

※録画時間は、常時録画、イベント記録のすべての録画時間の合計です。お使いの状況により、録画可能時間は変化します。

※[常時＋イベント]はおおよそですが、SDカード容量を常時70%、イベント30%で使用します。[常時録画]や[イベント記録]の場合は、選択した録画方法でSDカード容量を100%使用します。

1. 録画時間([常時録画]を選択した場合)

	8GB	16GB(付属)	32GB	64GB	128GB
30コマ/秒	約70分	約140分	約280分	約560分	約1,120分
15コマ/秒	約140分	約280分	約560分	約1,120分	約2,240分
10コマ/秒	約210分	約420分	約840分	約1,680分	約3,360分
5コマ/秒	約420分	約840分	約1,680分	約3,360分	約6,720分
1コマ/秒	約1,050分	約2,100分	約4,200分	約8,400分	約16,800分
2コマ/分	約525時間	約1,050 時間	約2,100時間	約4,200時間	約8,400時間
1コマ/分	約1,050時間	約2,100時間	約4,200時間	約8,400時間	約16,800時間
12コマ/時	約5,250時間	約10,500時間	約21,000時間	約42,000時間	約84,000時間
6コマ/時	約10,500時間	約21,000時間	約42,000時間	約84,000時間	約168,000時間

※マルチバッテリー設定を使用して駐車記録を行った場合、常時録画の録画コマ数が「1コマ/秒」以上の場合、「1コマ/秒」で固定されます。(☛ P.68)

2. イベント記録件数([イベント記録]を選択した場合)

付属のSDカード(16GB)の場合、以下のようになります。

※128GBでは8倍、64GBでは4倍、32GBでは2倍、8GBの場合では半分の記録件数になります。

	30コマ/秒	15コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	1コマ/秒
イベント記録時間前後の合計60秒	140件	280件	420件	840件	2,100件
イベント記録時間前後の合計50秒	160件	330件	500件	1,000件	2,500件
イベント記録時間前後の合計40秒	210件	420件	630件	1,260件	3,150件
イベント記録時間前後の合計30秒	280件	560件	840件	1,680件	4,200件
イベント記録時間前後の合計20秒	420件	840件	1,260件	2,520件	6,300件

索引

D
DCジャック …… 16

G
GPS …… 82
GPS機能 …… 24
Gセンサー …… 82
Gセンサー記録 …… 22
Gセンサ記録 …… 67

N
NIGHT(ナイト)モード …… 43, 46

O
OP-CB5R …… 18
OP-MB4000 …… 18, 26, 31, 83
OP-SD16 …… 18, 73
OP-SD32 …… 18, 73
OP-SD64 …… 18, 73
OP-SD128 …… 18, 73
OP-VMU01 …… 18, 26, 34, 83

S
SDカード …… 10, 17
SDカードID …… 67
SDカードカバー …… 16
SDカードフォーマット …… 70

あ
アフターサービス …… 87

い
イベント記録 …… 21, 22, 47, 59, 84
イベント記録件数 …… 84
イベント記録時間 …… 82
イベント記録時間 …… 66
印刷 …… 54
インフォメーション …… 72

う
上書きモード …… 23, 66

え
映像記録時間 …… 84
映像ファイル形式 …… 82

お
お客様ご相談センター …… 87
音声 …… 82
音声記録 …… 66

か
外形寸法 …… 82
画質 …… 82
加速度センサー表示 …… 50
簡単設定モード …… 67

き
記録解像度 …… 82
記録設定 …… 65
記録設定データ初期化 …… 71
記録媒体 …… 82
記録方式 …… 82
記録ボタン …… 16

さ
再生 …… 47
再生方法 …… 82
再生ボタン …… 49
最低被写体照度 …… 82
撮影素子 …… 82

し
視野角 …… 82
手動録画 …… 22
使用機種 …… 67
衝撃感度設定 …… 67
常時録画 …… 21, 48, 61, 84
消費電力 …… 82

せ
静止画変換 …… 53
製品保証期間 …… 82
接続ケーブル …… 18
設置角度検出 …… 68
専用ソフト …… 37, 42

ち
駐車記録 …… 24

索引

て
電圧監視機能付電源直結ユニット … 18, 26, 34
電圧監視機能付 電源ユニット……83
電源直結コード ……17
電源電圧 ……82

と
動画変換 ……52
動作一覧 ……77
動作温度範囲 ……82
トリガリスト表示 ……50

に
日時設定 ……67

は
バージョン情報 ……72
パスワード ……67
バックアップ …… 51, 71

ひ
ビープ音 ……67

ふ
フォーマット ……13
ブザー ……16
付属品・別売品の購入について ……18
ブラケット ……16
フレームレート ……82

ほ
本体重量 ……82

ま
マイク ……16
マルチトリガー ……23
マルチバッテリー …… 18, 26, 31, 83
マルチバッテリー設定 ……68

め
メンテナンス ……25

り
両面テープ ……17
履歴記録 …… 55, 63
履歴記録コマ数 ……66
履歴記録時間 ……66

れ
レポート表示 ……59
レンズ ……16

ろ
録画コマ数 ……66
録画方法 ……65
録画ランプ …… 16, 78
ログデータ変換 ……57
六角ネジ ……16

わ
ワンタッチ記録 ……22

アフターサービス

●保証書（裏表紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間　9：00 ～ 17：00　月曜日～金曜日（年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　フリーコール　0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用ソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。
https://www.yupiteru.co.jp/